

京都大学の卒業生と教育に係るアンケート 実施結果

－ 関係者（本学卒業・修了生が就職した民間企業）へのアンケート －

平成29年10月

京都大学

大学評価委員会

1. アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

本学の教育の目的や養成しようとする人材像に照らして、学生が身につけるべき知識・技能・姿勢等について、学習成果の確認や関係者のニーズ等の把握に努めることは、本学が社会的責任を果たす上で必要である。そこで今回は、本学において教育を受けた卒業生が就職した民間企業からの声を聞くことによって、本学の教育により卒業生の学習成果が上がっているか否かを確認し、さらなる教育の質の改善・向上を目指すとともに、関係者のニーズと期待を把握するためアンケート調査を実施することとした。

(2) 調査の方法

以下の内容で、アンケート調査を実施した。

① 調査対象

本学卒業・修了生が就職した民間企業 2,485社

※過去5年間で本学卒業・修了生1名以上が就職した民間企業を対象
アンケートで対象とする卒業生は、卒業後概ね5年以内と規定

② 調査方法

ア. 配付・回収：本学WEBアンケートシステムのパッケージ「就職先アンケート」
システムによる入力・回答方式

イ. 回答形式：該当番号選択または自由記述

③ 実施期間

平成29年8月1日～9月8日

④ 調査内容

- I. 京都大学の卒業生の印象（他大学の卒業生と比較した印象）
- II. 京都大学の教育の印象
- III. 京都大学での教育のあるべき姿
- IV. 京都大学への要望

⑤ 回収状況

依頼先：2, 485件

回答数：447件（該当なしと回答があった分は除外）

回答率：18%

※ 前回平成27年度は、以下のとおり

依頼先：4, 197件

回答数：313件

回答率：7.5%

(3) 集計方法等

① 選択式

各設問単位に単純集計を行った。集計結果のうち、個別の割合については少数点第2位を四捨五入して標記しているため、合計が100%に一致しない場合がある。

② 自由記述式

自由記述（意見、その他の内容など）については別途分析を行うこととし、本報告書での掲載は省略する。

2. 集計結果

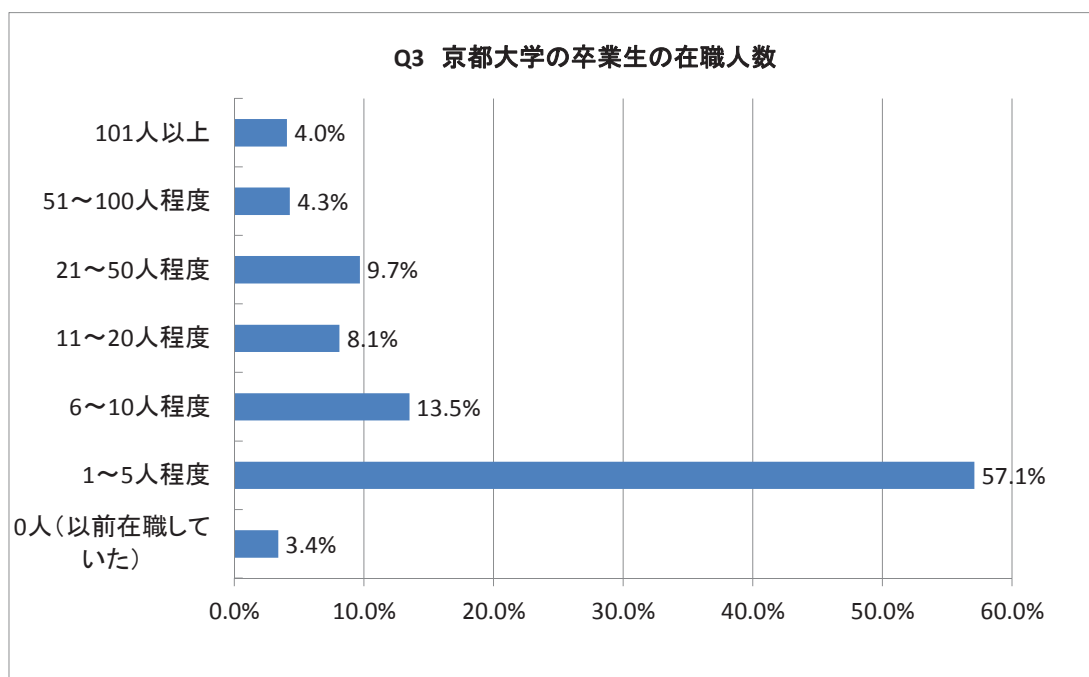
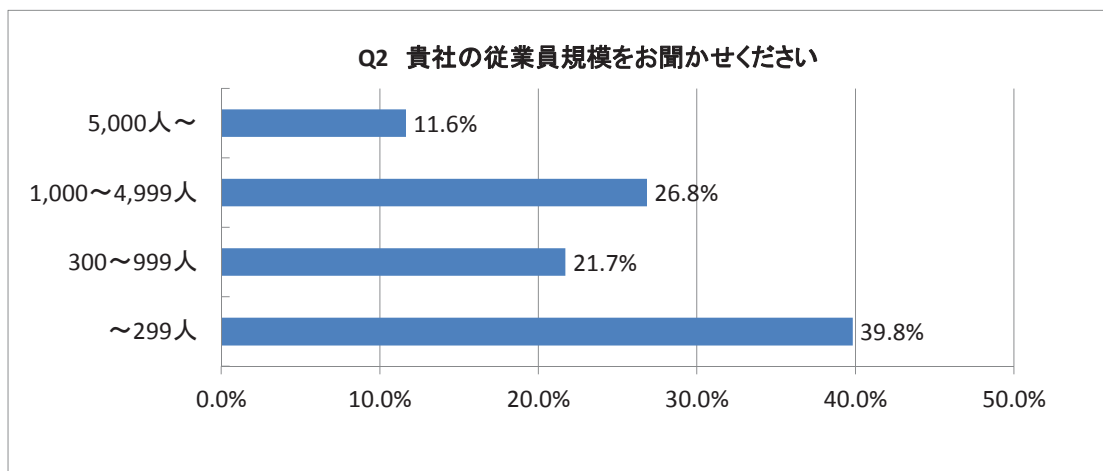
	頁
(1) 集計表 (数値データ一覧表)	4
(2) 集計グラフ (選択式回答に係る集計)	
1) 回答企業属性、卒業生区分	5
2) 全体版	7
3) 卒業生区分別	
① 文系／理系	11
② 学部卒業／大学院修了	17
4) 過去のアンケート結果との比較	23
参考 アンケート内容	32

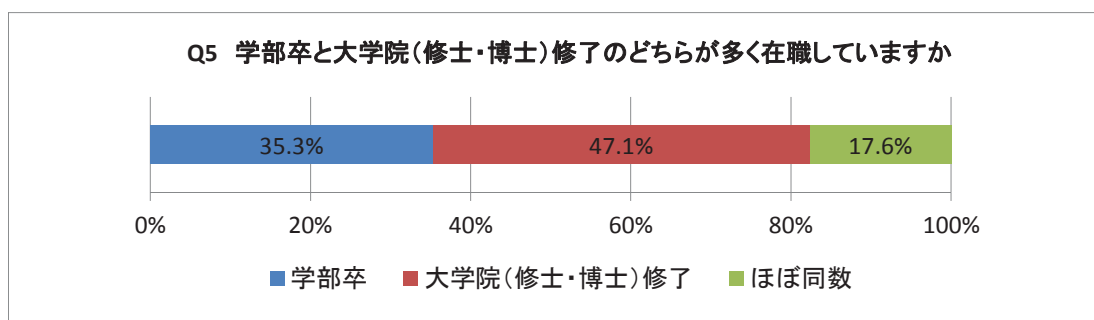
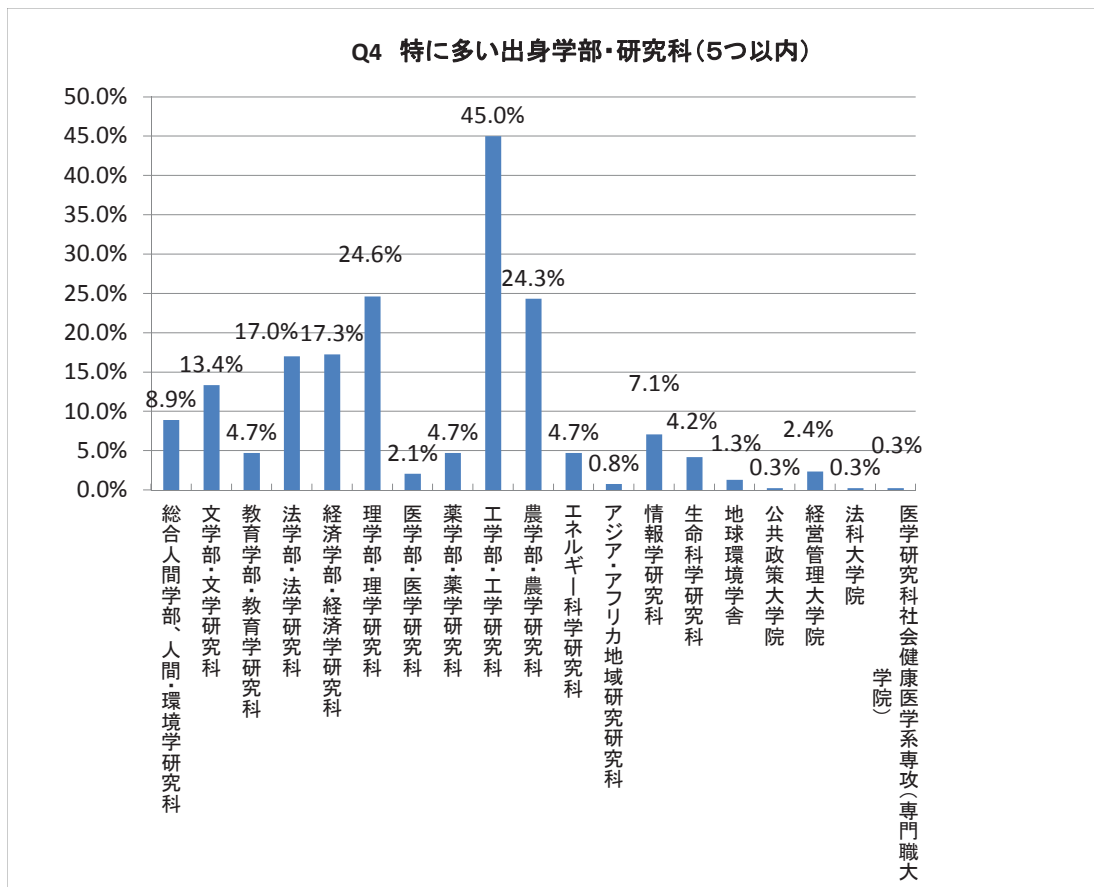
(1) 集計表(数値データ一覧表)

平成29年度実施分						I 他大学の卒業生と比較した、京都大学卒業生の印象についてお答え下さい。						II 卒業生を通して感じられる、京都大学の教育の印象についてお答え下さい。						III 卒業生の印象を踏まえて、京都大学での教育のあるべき姿(今後の方向性)についてご意見をお聞かせ下さい。						
I 他大学の卒業生と比較した、京都大学卒業生の印象についてお答え下さい。	Q6	総合評価	①	悪い	4	0.9%	Q20	コミュニケーション能力	①	不十分	6	1.4%	Q24	京都大学卒業生の印象について、普段感じておられることを自由にお書き下さい	記述	286	64.0%	Q32	「学術的な基礎」についての教育と「社会での実践」についての教育では、どちらに重点をおいた方がよいと思われるか	①	学術的な基礎	40	9.2%	
			②	やや悪い	4	0.9%			②	やや不十分	44	10.0%			②	どちらかと言うと学術的な基礎	72			16.5%				
			③	普通	43	9.7%			③	普通	136	30.9%							③	両方	172	39.4%		
			④	おおむね良い	184	41.5%			④	おおむね十分	178	40.5%							④	どちらかと言うと社会での実践	104	23.9%		
			⑤	良い	208	47.0%			⑤	十分	76	17.3%							⑤	社会での実践	48	11.0%		
	Q7	一般教養(大卒レベル)	①	不十分	0	0.0%		Q21	(貴社の想定する)リーダーシップ	①	不十分	8	1.8%						Q33	Q32について、ご意見がある方はご自由にお書きください	記述	98	21.9%	
			②	やや不十分	4	0.9%			②	やや不十分	49	11.2%												
			③	普通	44	10.0%			③	普通	175	39.9%												
			④	おおむね十分	144	32.8%			④	おおむね十分	161	36.7%												
			⑤	十分	247	56.3%			⑤	十分	46	10.5%												
	Q8	基礎知識	①	不十分	0	0.0%		Q22	たくましさ	①	不十分	7	1.6%						Q34	高度な専門教育と幅広い教養教育とでは、どちらに重点をおいた方がよいと思われるか	①	高度な専門教育	54	12.3%
			②	やや不十分	2	0.5%			②	やや不十分	46	10.5%									②	どちらかと言うと高度な専門教育	117	26.6%
			③	普通	30	6.8%			③	普通	178	40.5%									③	両方	169	38.4%
			④	おおむね十分	156	35.5%			④	おおむね十分	141	32.1%									④	どちらかと言うと幅広い教養教育	75	17.0%
			⑤	十分	251	57.2%			⑤	十分	67	15.3%									⑤	幅広い教養教育	25	5.7%
	Q9	専門知識の活用能力	①	不十分	3	0.7%		Q23	倫理観	①	不十分	2	0.5%						Q35	Q34について、ご意見がある方はご自由にお書きください	記述	95	21.3%	
			②	やや不十分	6	1.4%			②	やや不十分	14	3.2%												
			③	普通	66	14.9%			③	普通	124	28.2%												
			④	おおむね十分	183	41.4%			④	おおむね十分	171	39.0%												
			⑤	十分	184	41.6%			⑤	十分	128	29.2%												
	Q10	国際性	①	不十分	5	1.1%													Q36	自国・他国文化の理解に基づき、国際対応力を有するグローバル人材を育成する教育についてお聞かせ下さい	①	現状でよい	38	8.7%
			②	やや不十分	21	4.8%															②	どちらかと言うと現状でよい	47	10.8%
			③	普通	222	50.5%															③	どちらとも言えない	112	25.6%
			④	おおむね十分	134	30.5%															④	どちらかと言うと充実させるべき	148	33.9%
			⑤	十分	58	13.2%															⑤	充実させるべき	92	21.1%
	Q11	国際性(a)英語でのコミュニケーション能力	①	不十分	11	2.5%													Q37	また、グローバル人材育成に関連して、京都大学の卒業生に期待する能力として、貴社では主にどのような能力を求めていますか(複数回答可)	英語でのコミュニケーション力	202	46.2%	
			②	やや不十分	40	9.1%															英語以外の外国語でのコミュニケーション力	25	5.7%	
			③	普通	218	49.8%															プレゼンテーション能力	198	45.3%	
			④	おおむね十分	123	28.1%															異文化の理解力	147	33.6%	
			⑤	十分	46	10.5%															グローバルな課題への理解・対応能力	267	61.1%	
			①	不十分	6	1.4%															専門知識の活用能力	159	36.4%	
			②	やや不十分	19	4.4%																		
			③	普通	210	48.3%																		
			④	おおむね十分	143	32.9%																		
			⑤	十分	57	13.1%																		
	Q12	国際性(b)異文化理解力	①	不十分	6	1.4%													Q38	Q36について、ご意見がある方はご自由にお書きください	記述	57	12.8%	
			②	やや不十分	25	5.7%																		
			③	普通	227	51.8%																		
			④	おおむね十分	127	29.0%																		
			⑤	十分	53	12.1%																		
	Q13	国際性(c)ダイバーシティマネジメント(多様な人材の活用能力)	①	不十分	4	0.9%		Q25	「自由の学风」が感じられる	①	感じられない	1	0.2%						Q39	社会連携(産学連携プロジェクトへの参加、ポランティア活動等)を活用した人材育成について	①	必要ない	9	2.1%
			②	やや不十分	24	5.4%				②	あまり感じられない	23	5.2%								②	どちらかと言うと必要ない	22	5.0%
			③	普通	137	31.1%				③	どちらとも言えない	119	27.0%								③	どちらとも言えない	117	26.7%
			④	おおむね十分	186	42.2%				④	やや感じられる	143	32.4%								④	どちらかと言うと積極的にすべき	158	36.1%
			⑤	十分	90	20.4%				⑤	感じられる	155	35.1%								⑤	積極的にすべき	132	30.1%
	Q14	企画力	①	不十分	4	0.9%		Q26	独創性を尊重している	①	感じられない	2	0.5%						Q40	Q39について、ご意見がある方はご自由にお書きください	記述	65	14.5%	
			②	やや不十分	24	5.4%				②	あまり感じられない	22	5.0%											
			③	普通	137	31.1%				③	どちらとも言えない	120	27.3%											
			④	おおむね十分	186	42.2%				④	やや感じられる	168	38.2%											
			⑤	十分	90	20.4%				⑤	感じられる	128	29.1%											
	Q15	実行力	①	不十分	4	0.9%		Q27	自立性を尊重している	①	感じられない	1	0.2%						Q41	社会人に対する高度教育(修士課程、博士課程、専門職大学院への就学)の必要性	①	必要ない	7	1.6%
			②	やや不十分	22	5.0%				②	あまり感じられない	14	3.2%								②	どちらかと言うと必要ない	34	7.8%
			③	普通	119	27.0%				③	どちらとも言えない	90	20.5%								③	どちらとも言えない	167	38.1%
			④	おおむね十分	194	44.0%				④	やや感じられる	188	42.9%								④	どちらかと言うと必要	160	36.5%
			⑤	十分	102	23.1%				⑤	感じられる	145	33.1%								⑤	必要	70	16.0%
	Q16	課題解決力	①	不十分	4	0.9%		Q28	基礎学問・研究を重視している	①	感じられない	3	0.7%						Q42	Q41について、ご意見がある方はご自由にお書きください	記述	65	14.5%	
			②	やや不十分	9	2.1%				②	あまり感じられない	9	2.1%											
			③	普通	89	20.3%				③	どちらとも言えない	83	18.9%											
			④	おおむね十分	195	44.4%				④	やや感じられる	155	35.3%											
			⑤	十分	142	32.3%				⑤	感じられる	189	43.1%											
	Q17	クリティカルシンキング(思考力・判断力・知識の活用)	①	不十分	4	0.9%		Q29	国際性を重視している	①	感じられない	9	2.1%						Q43	京都大学の卒業生に期待する資質・能力として、貴社では主にどのようなものを求めていますか。特に期待するものを3つ以内でお選びください	一般教養(大卒レベル)	53	12.1%	
			②	やや不十分	9	2.1%				②	あまり感じられない	60	13.7%								基礎知識	36	8.2%	
			③	普通	71	16.2%				③	どちらとも言えない	213	48.7%								専門知識の活用能力	166	38.0%	
			④	おおむね十分	175	39.9%				④	やや感じられる	107	24.5%								国際性	24	5.5%	
			⑤	十分	180	41.0%				⑤	感じられる	48	11.0%								企画力	108	24.7%	
	Q18	積極性	①	不十分	5	1.1%		Q30	フィールドワーク・実験を重視している	①	感じられない	7	1.6%									実行力	135	30.9%
			②	やや不十分	32	7.3%				②	あまり感じられない	24	5.5%									課題解決力	242	55.4%
			③	普通	137	31.4%				③	どちらとも言えない	193	43.9%									クリティカルシンキング	99	22.7%
			④	おおむね十分	181	41.5%				④	やや感じられる	146	33.2%									積極性	71	16.2%
			⑤	十分	81	18.6%				⑤	感じられる	70	15.9%									協調性	39	8.9%
	Q19	協調性	①	不十分	8	1.8%		Q31	京都大学の教育の印象について、自由にお書き下さい	記述												コミュニケーション能力	148	33.9%
			②																					

(2) 集計グラフ(選択式回答に係る集計)

1) 回答企業属性・対象者区分

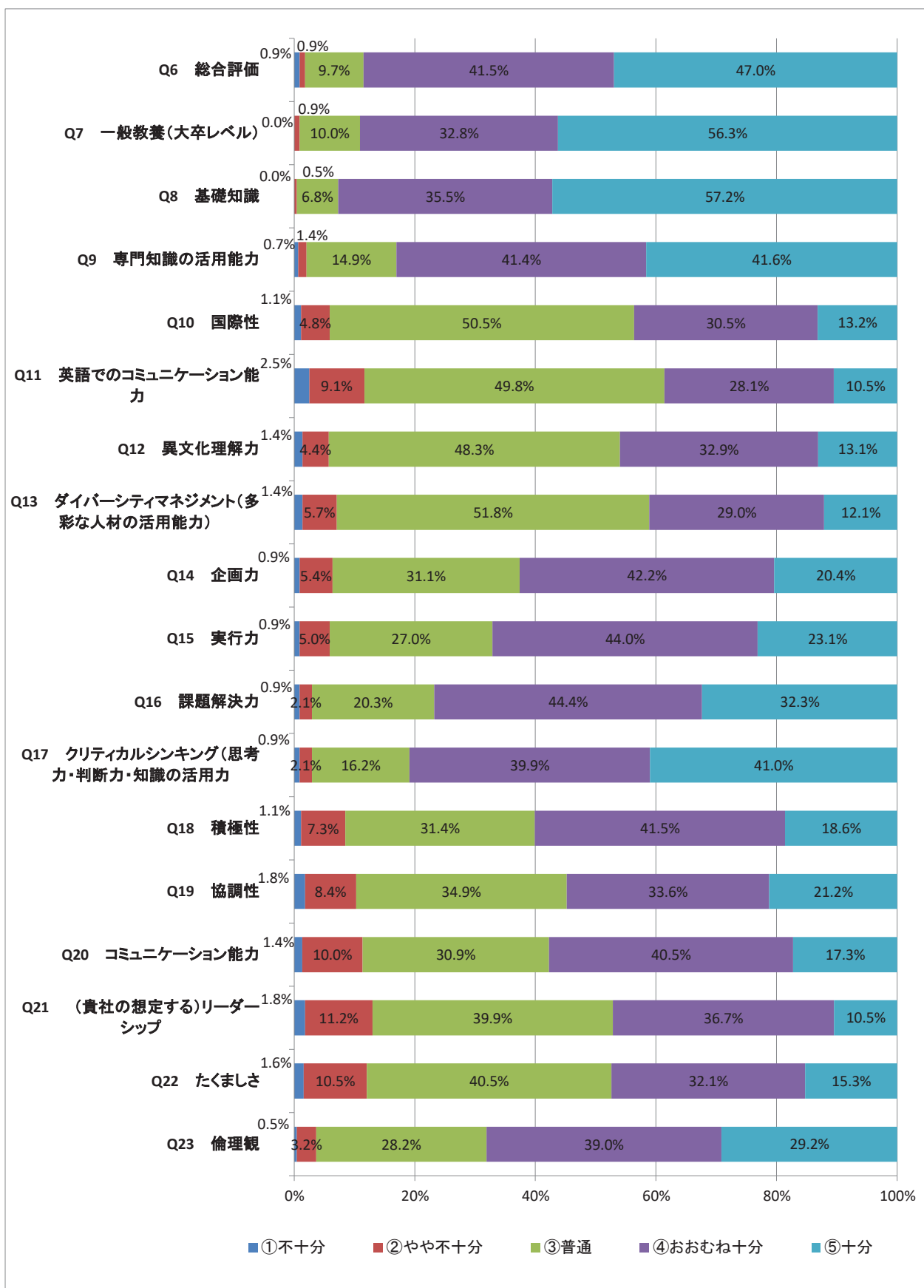




2) 全体版

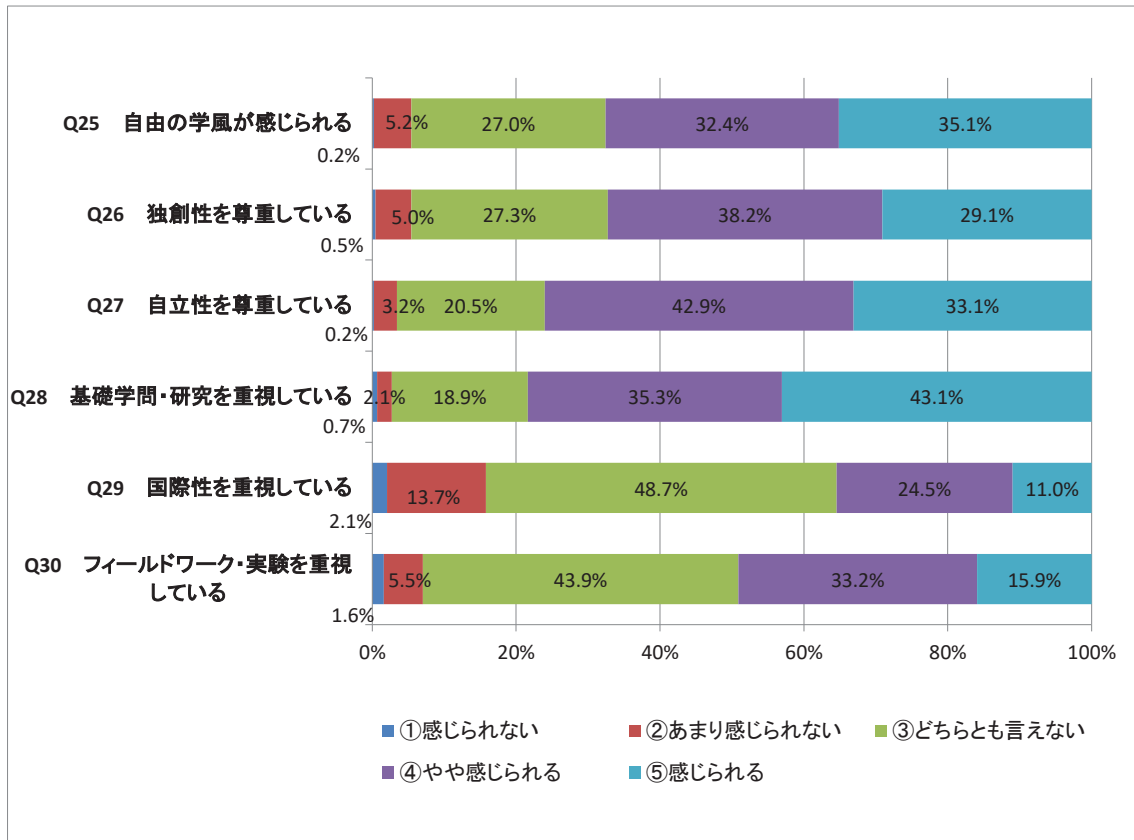
I. 京都大学の卒業生の印象

(a) Q6～Q23: 他大学卒業生と比較した京都大学卒業生の印象



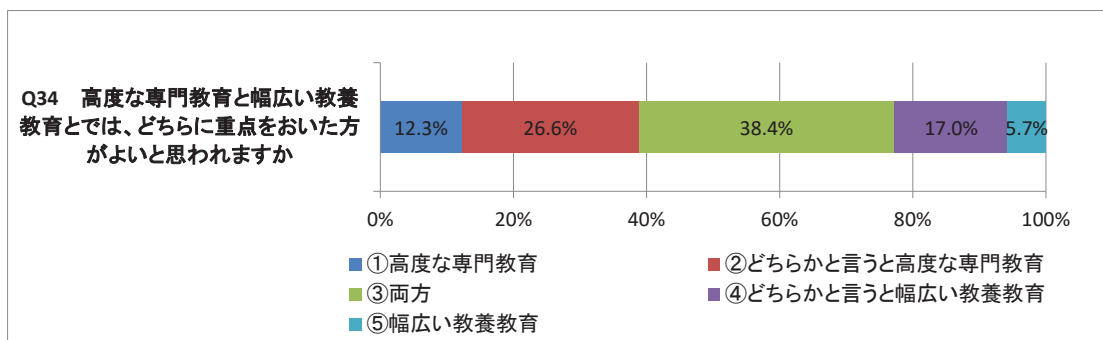
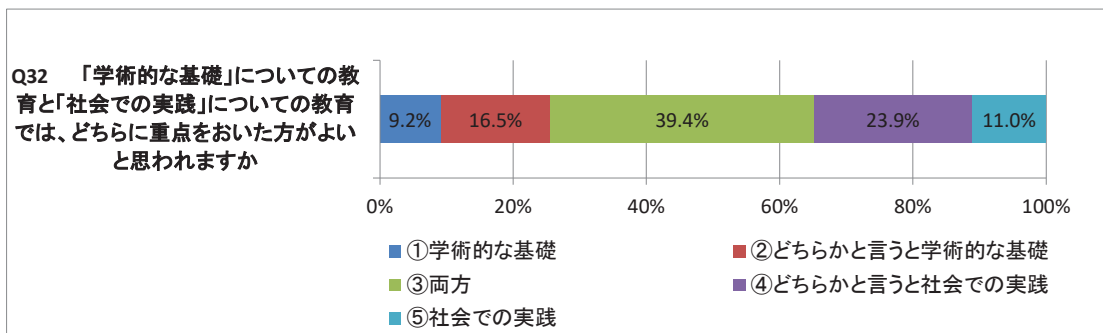
Ⅱ. 京都大学の教育の印象

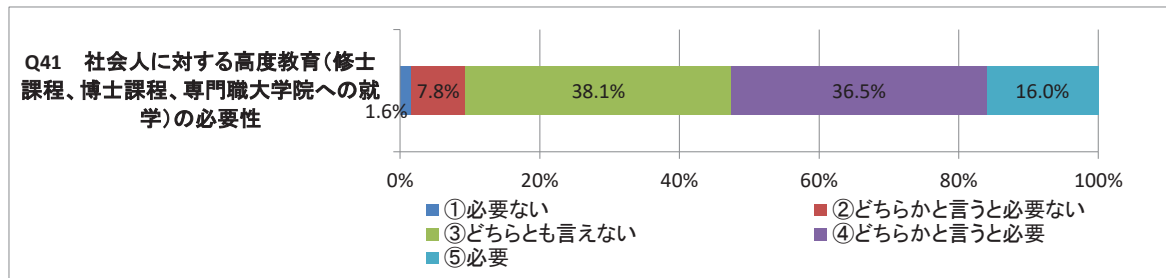
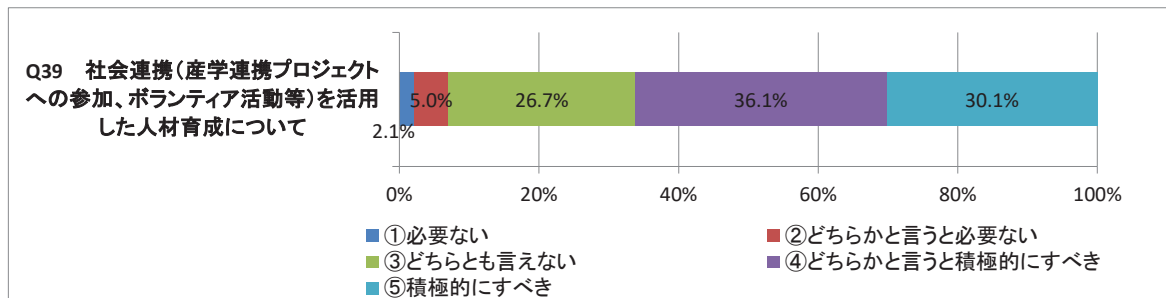
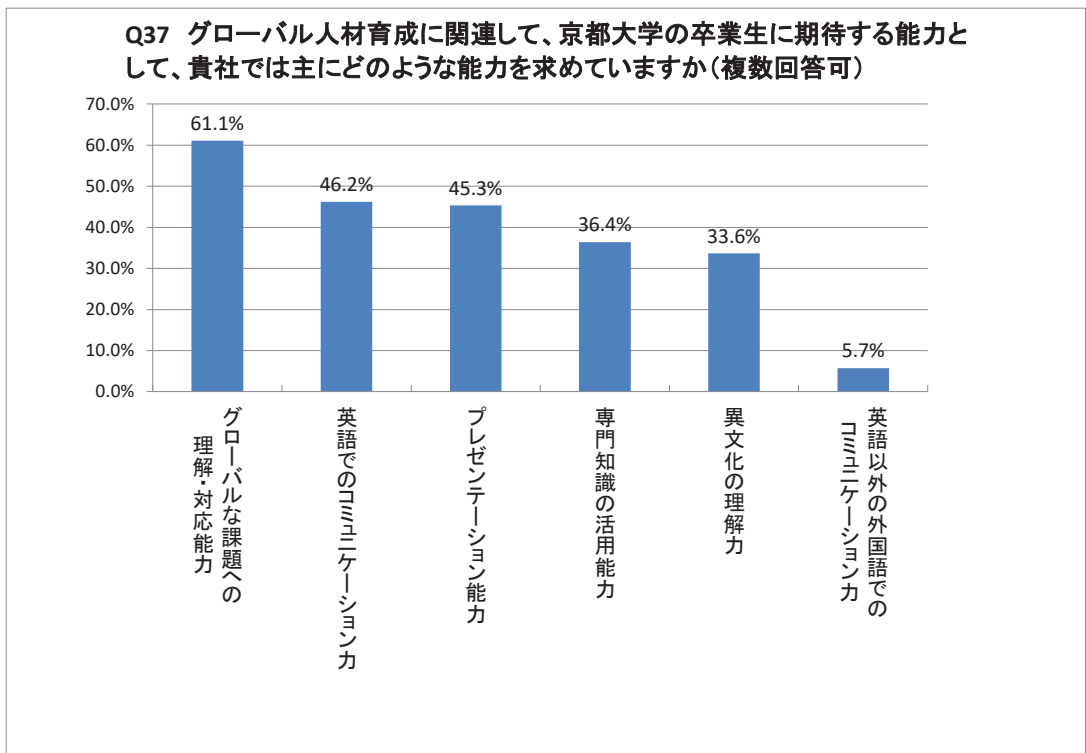
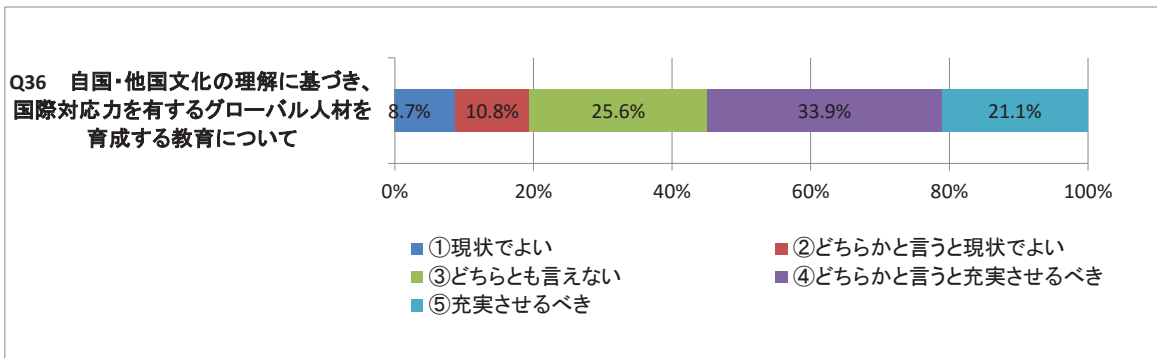
(b) Q25～Q30: 京都大学の卒業生を通じて感じられる京都大学の教育の印象



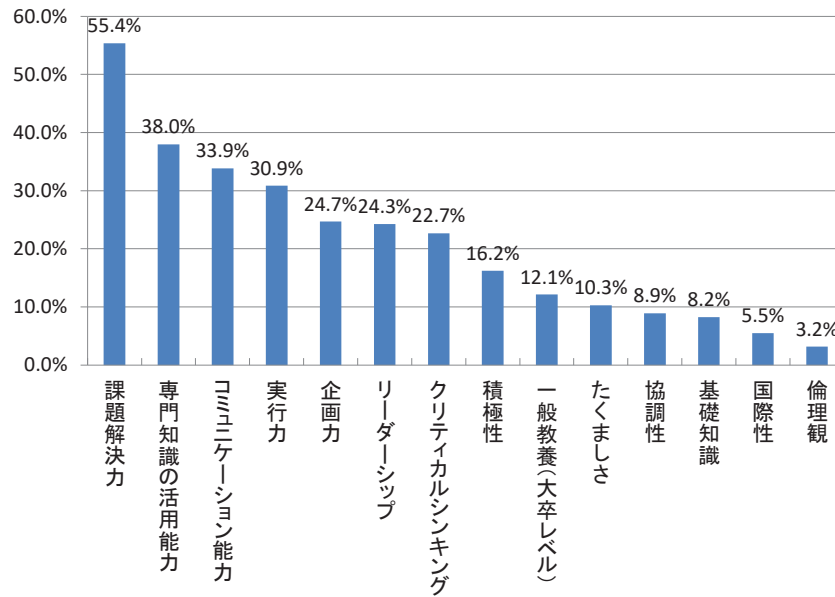
Ⅲ. 京都大学での教育のあるべき姿

(c) Q32～Q43: 京都大学の卒業生の印象を踏まえた京都大学の教育のあるべき姿への意見 (Q33, Q35, Q38, Q40, Q42は自由記述のため含めていない。)





Q43 京都大学の卒業生に期待する資質・能力として、貴社では主にどのようなものを求めていますか(3つ以内)



3) 卒業生区分別

① 文系／理系

【区分方法】Q4. (特に多い出身学部・研究科を5つ以内で選択)において選択された部局に着目して、学際部局を除き過半数が文系部局であった回答データを「文系」(90件)、同様に過半数が理系部局であった回答データを「理系」(249件)と区分し、それぞれにおいて集計した。なお、文理同数の場合、過半数が学際分野部局であった場合、及びQ4. が空欄の場合は、本結果に含めていない(計108件)。

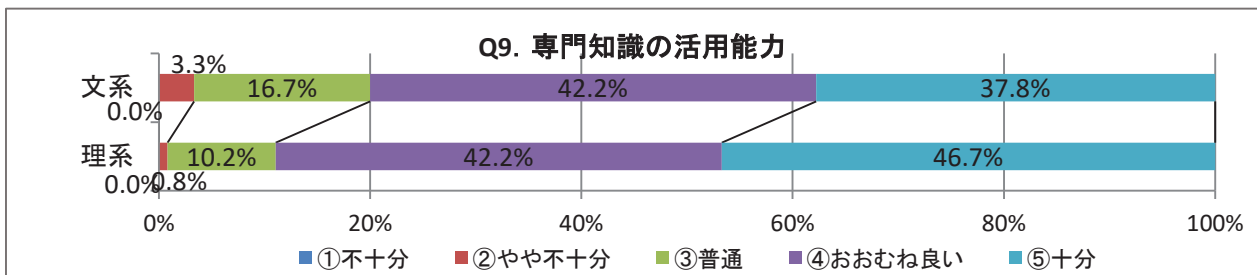
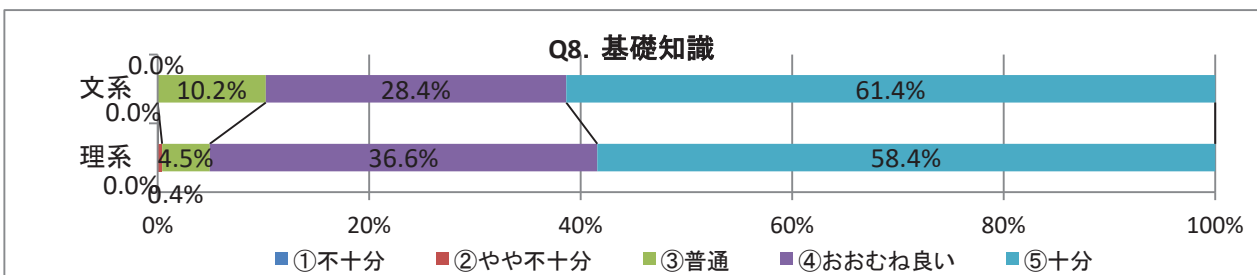
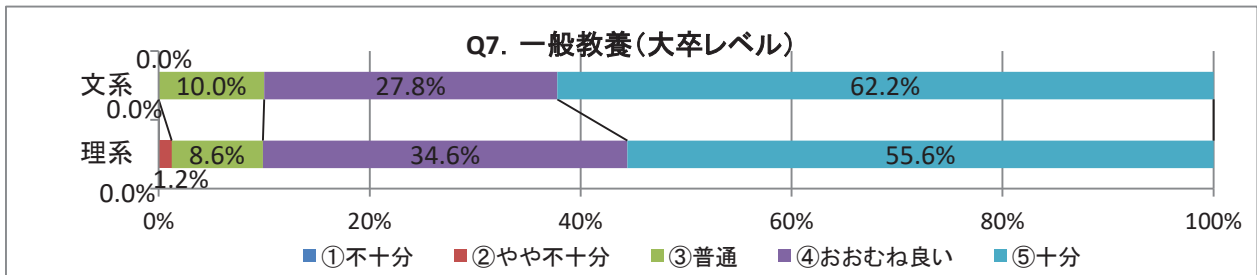
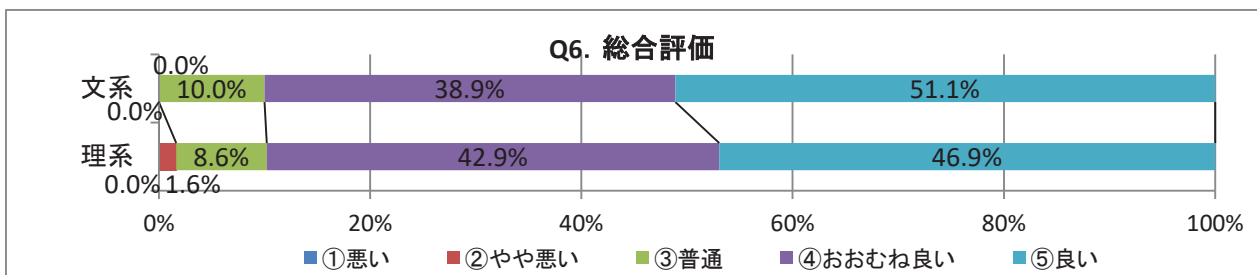
文理区分:

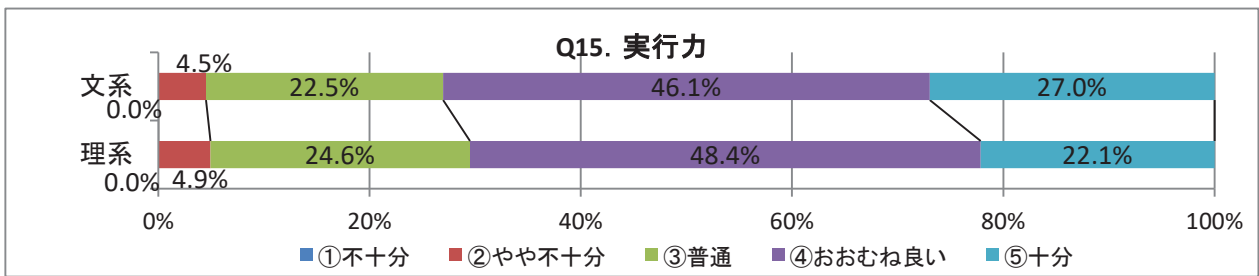
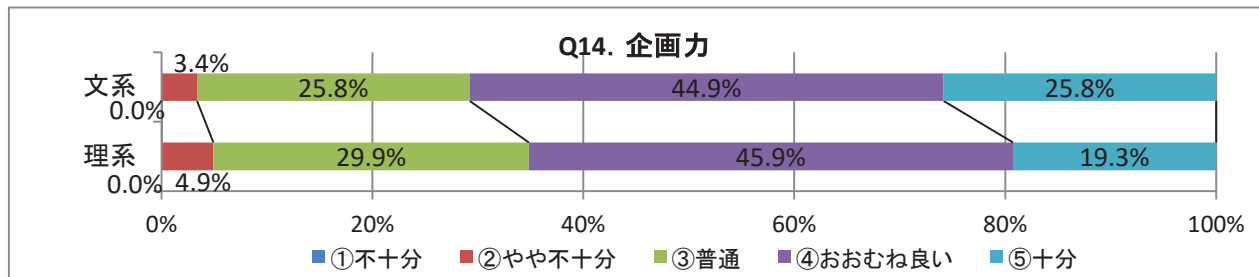
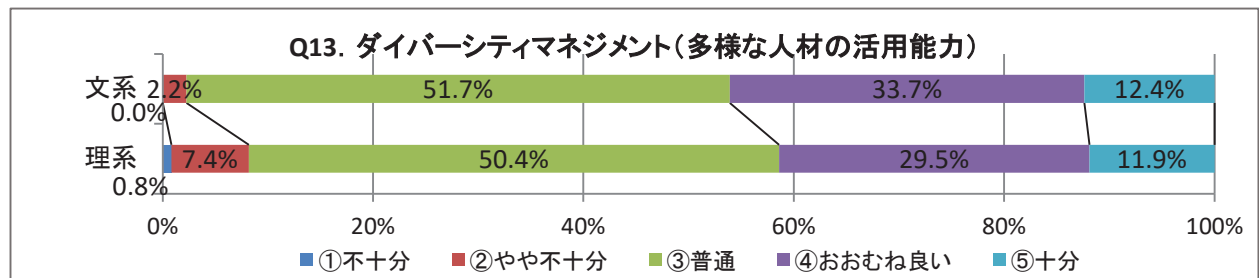
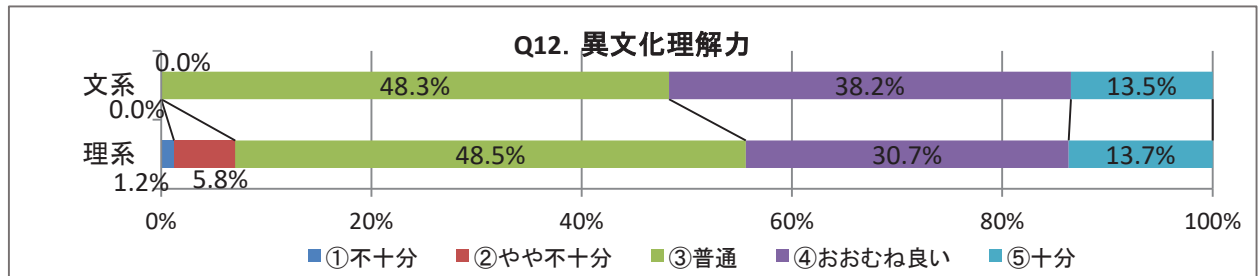
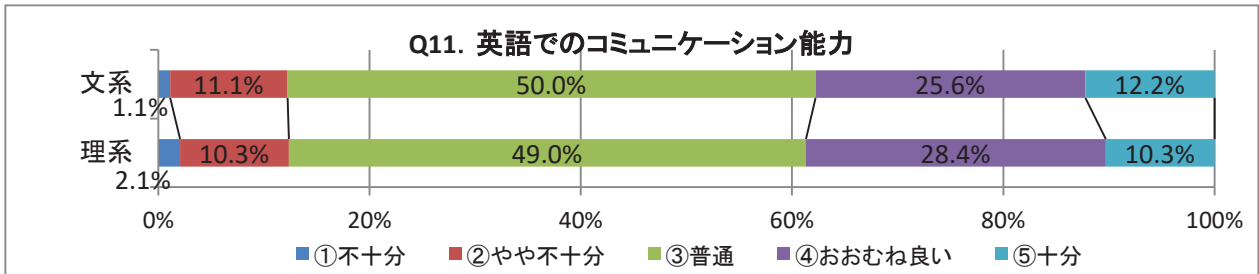
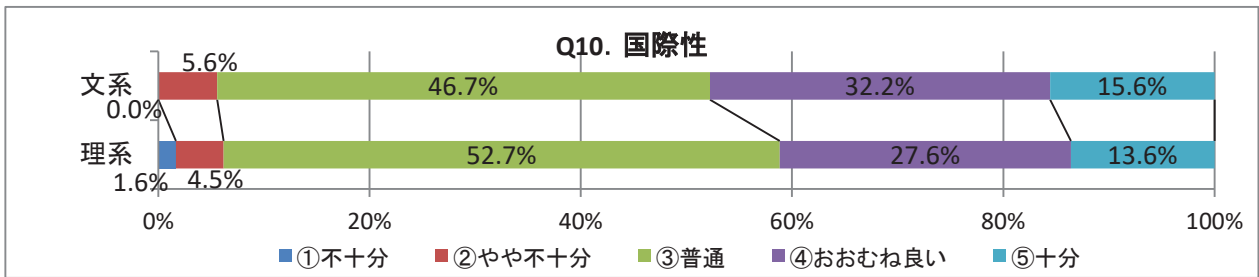
「文系」文学部・文学研究科、教育学部・教育学研究科、法学部・法学研究科、経済学部・経済学研究科、公共政策大学院、経営管理大学院、法科大学院

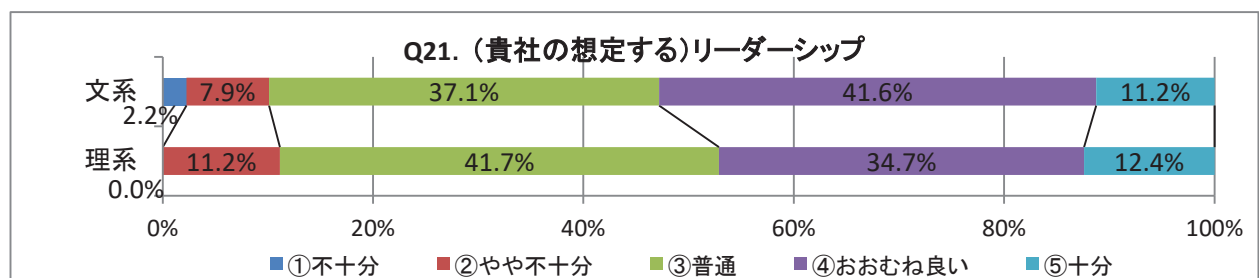
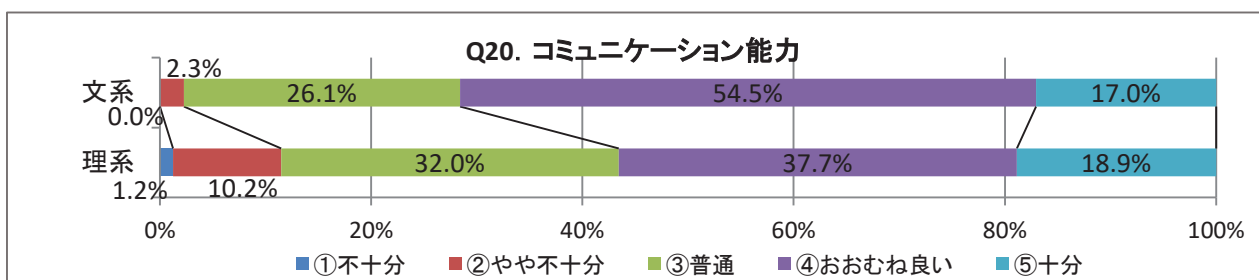
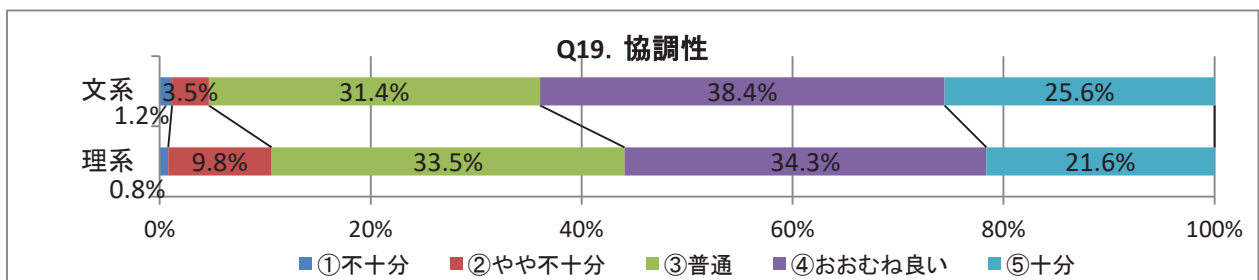
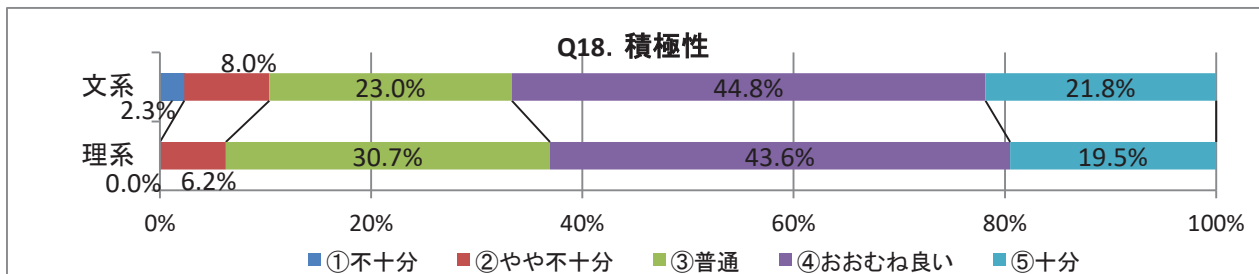
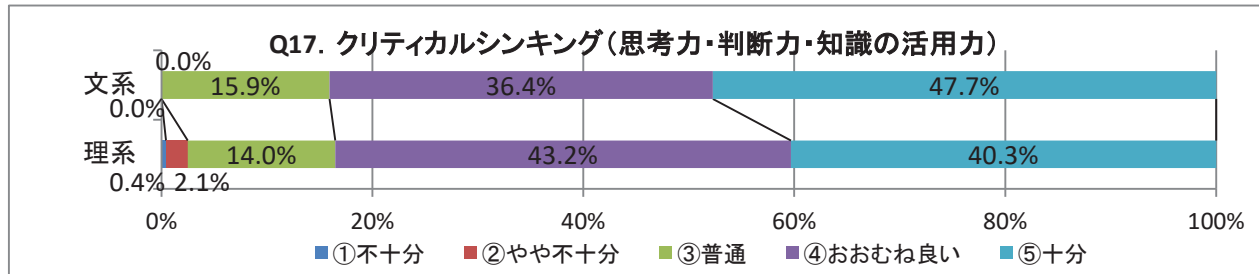
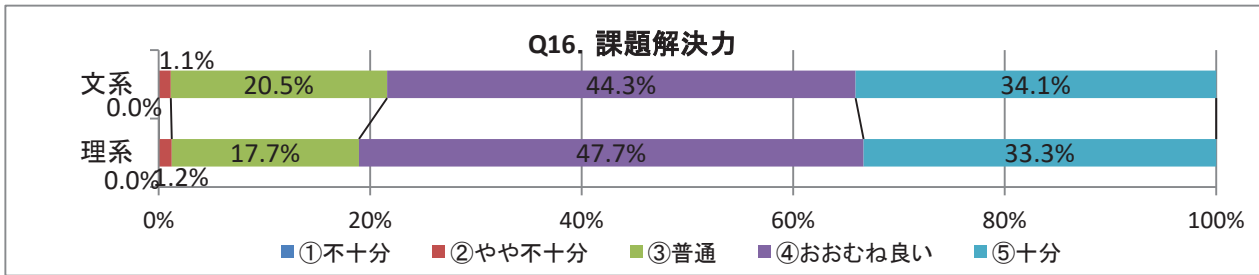
「理系」理学部・理学研究科、医学部・医学研究科、薬学部・薬学研究科、工学部・工学研究科、農学部・農学研究科、エネルギー科学研究科、情報学研究科、生命科学研究科、医学研究科社会健康医学系専攻(専門職大学院)

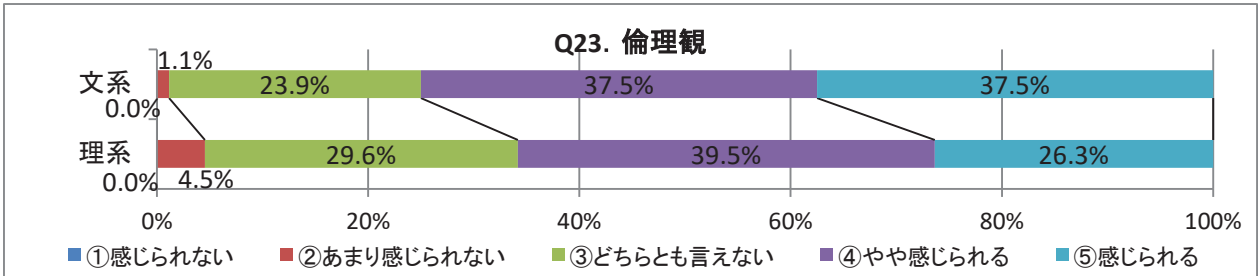
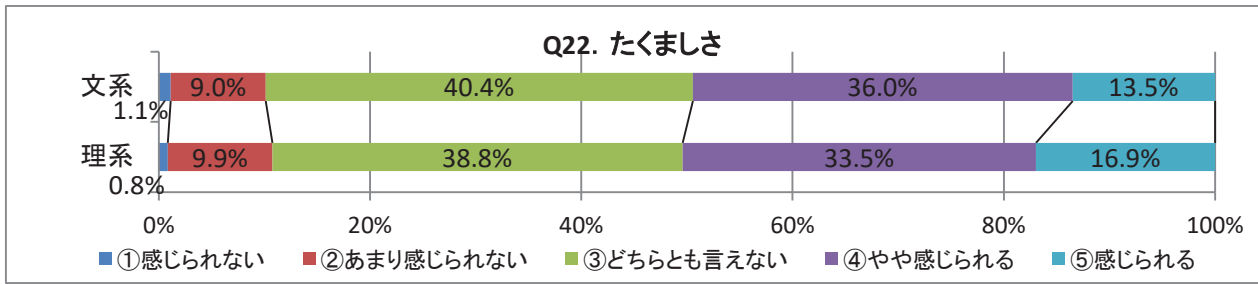
「学際」総合人間学部／人間・環境学研究科、アジア・アフリカ地域研究研究科、地球環境学舎

(a) Q6～Q23: 他大学卒業生と比較した京都大学卒業生の印象

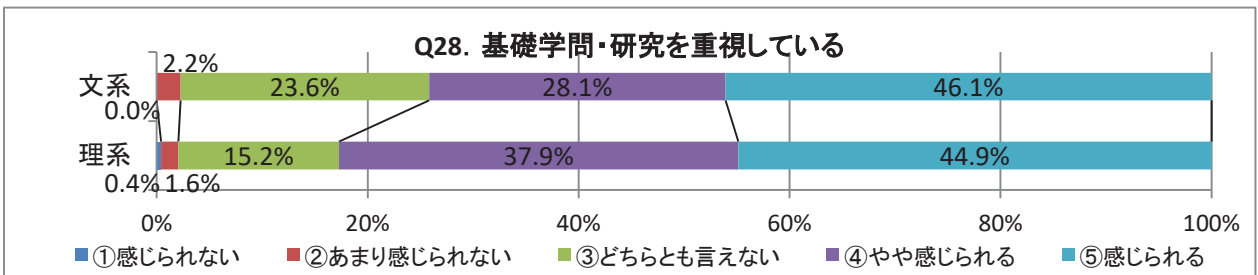
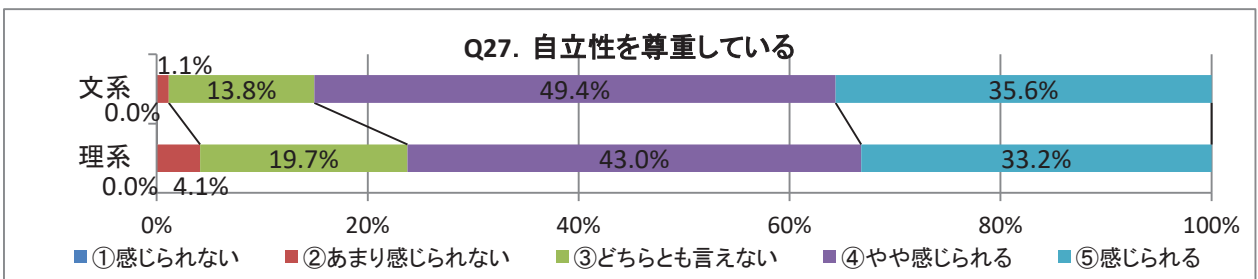
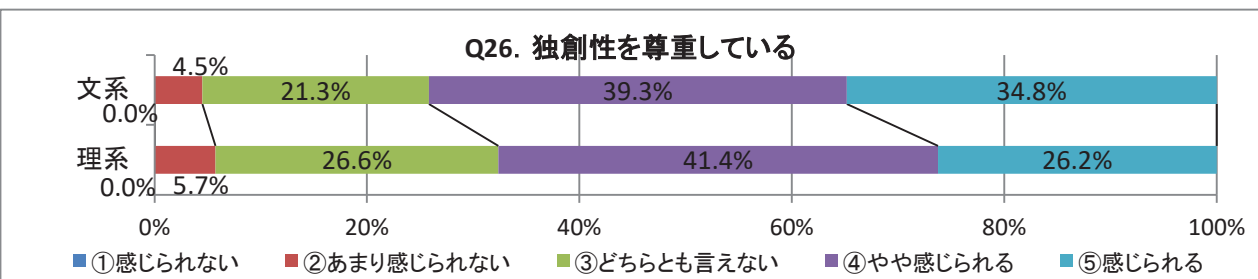
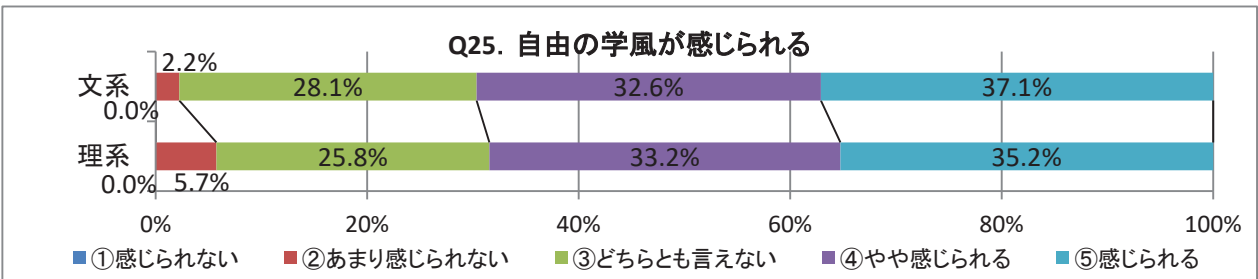


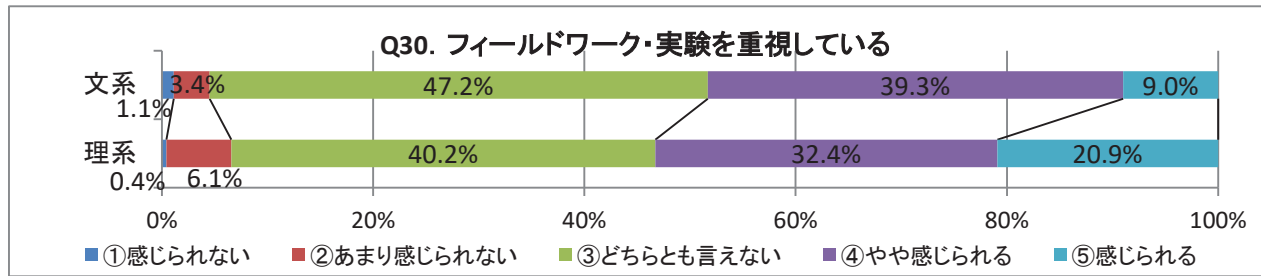
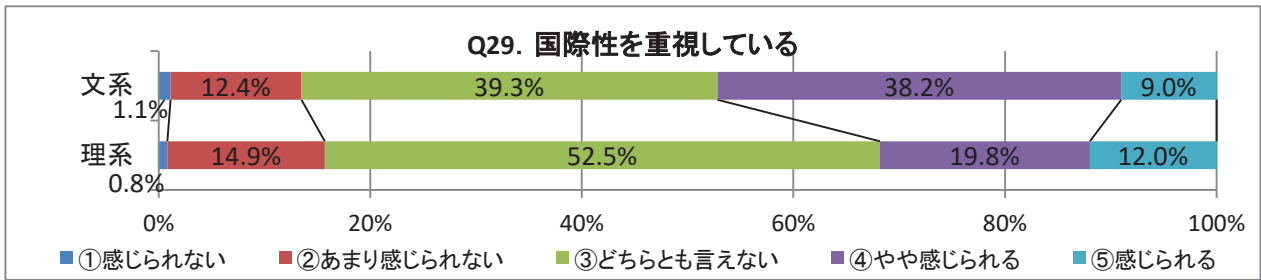




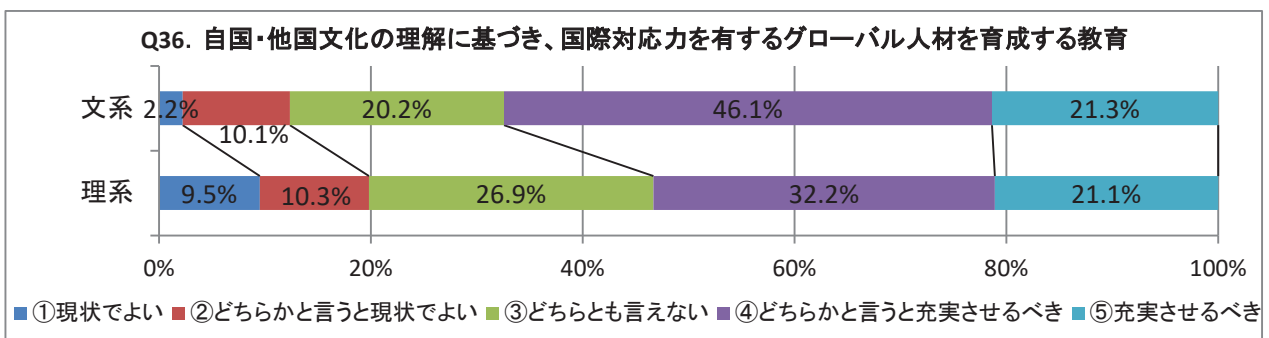
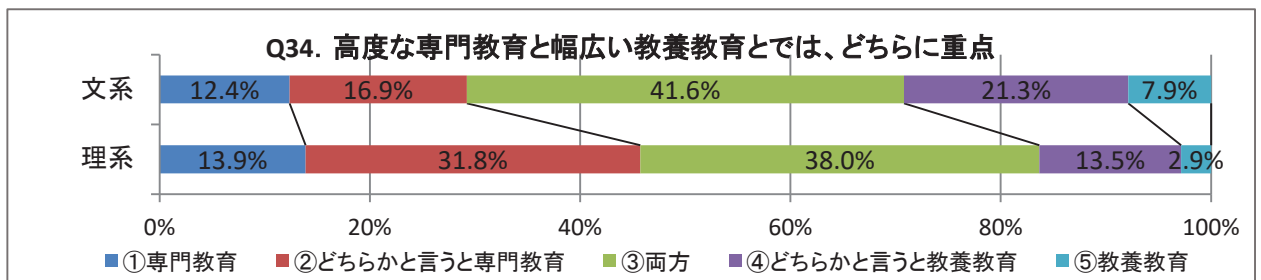
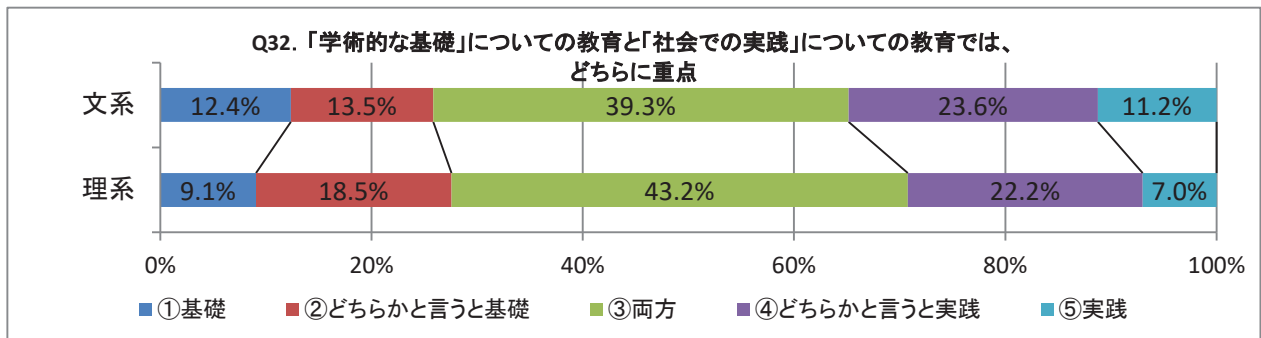


(b) Q25～Q30: 京都大学の卒業生を通じて感じられる京都大学の教育の印象

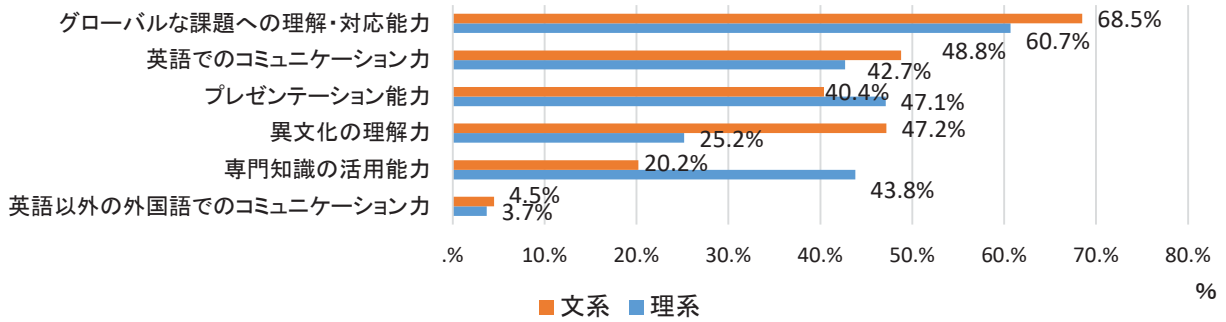




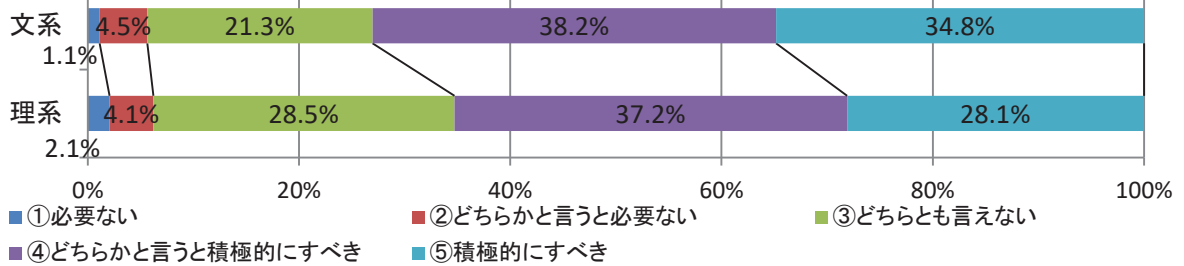
(c) Q32～Q43: 京都大学の卒業生の印象を踏まえた京都大学の教育のあるべき姿への意見
(Q33,Q35,Q38,Q40,Q42は自由記述のため含めていない。)



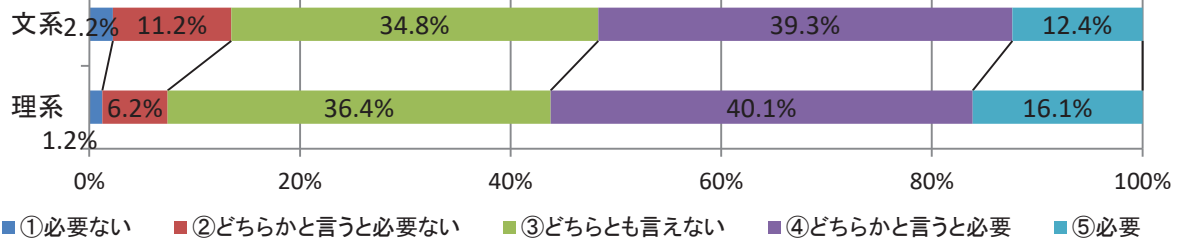
Q37. グローバル人材の育成に関連して、本学卒業生に期待する能力



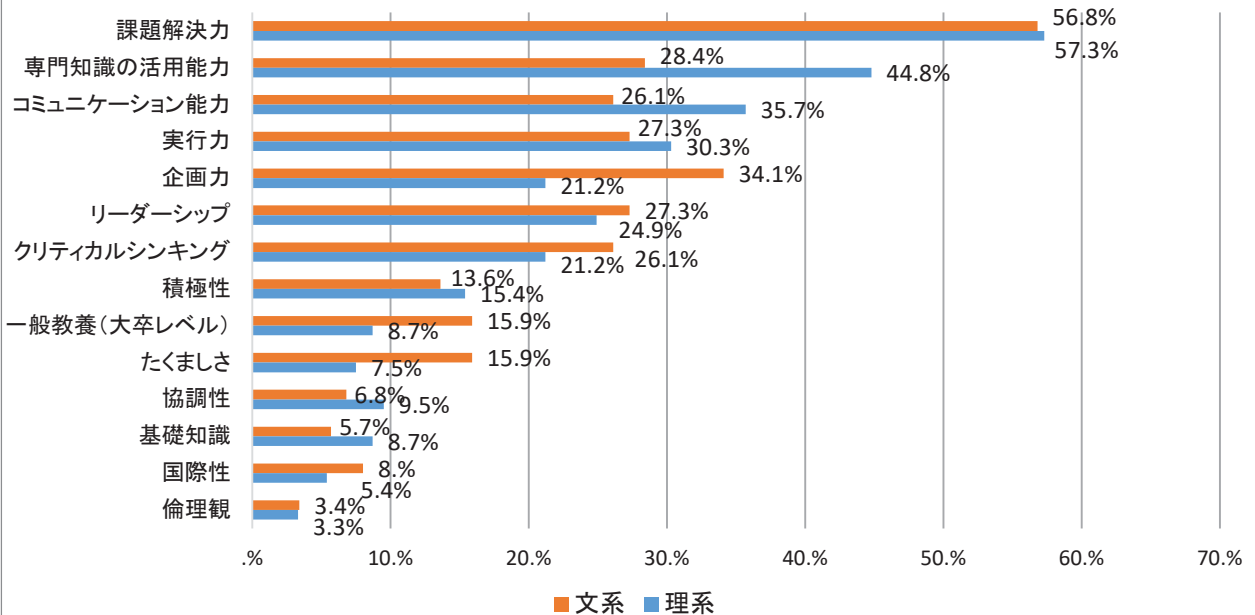
Q39. 社会連携(産学連携プロジェクトへの参加、ボランティア活動等)を活用した人材育成



Q41. 社会人に対する高度教育(修士課程、博士課程、専門職大学院への就学)の必要性



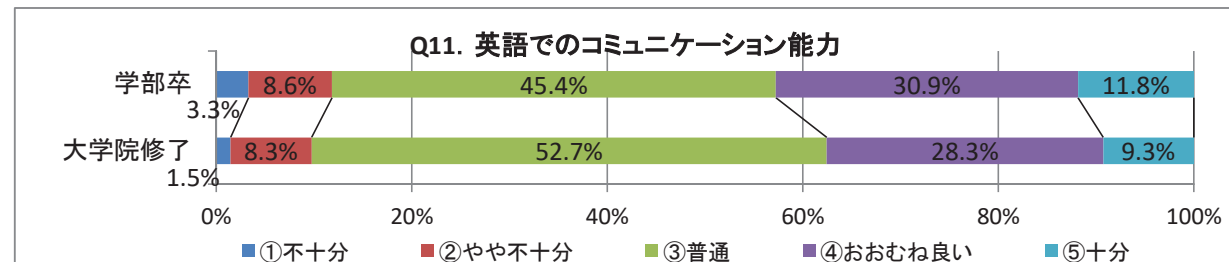
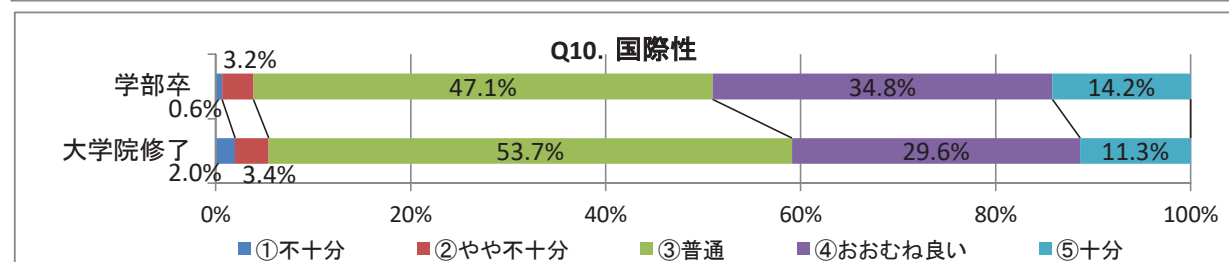
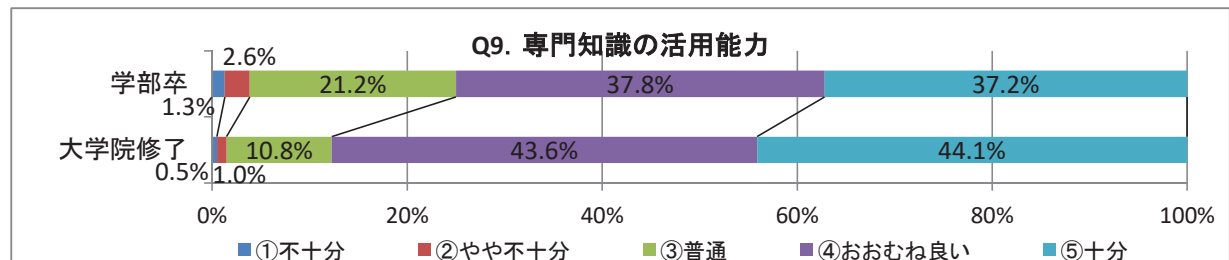
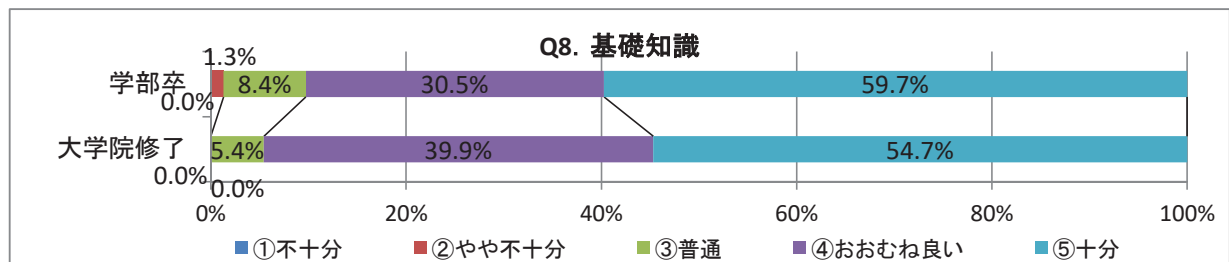
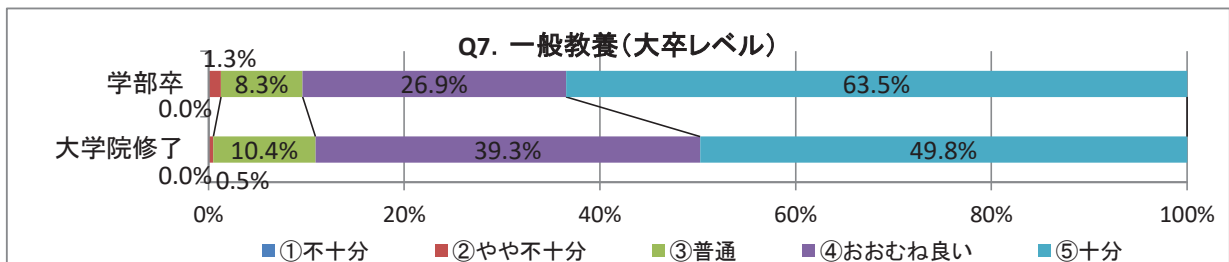
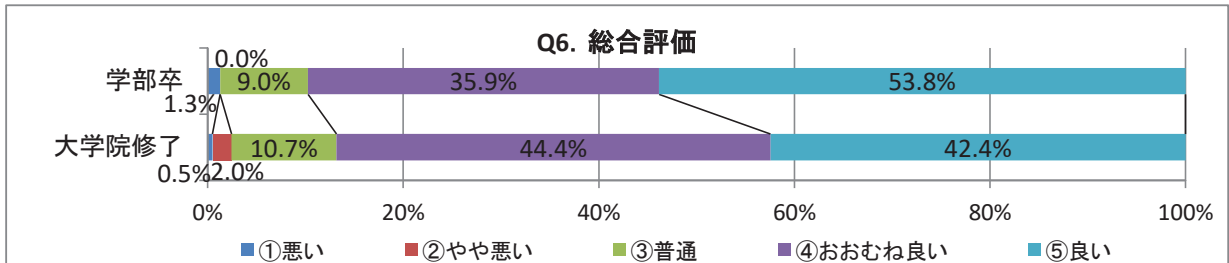
Q43. 京都大学の卒業生に期待する資質・能力

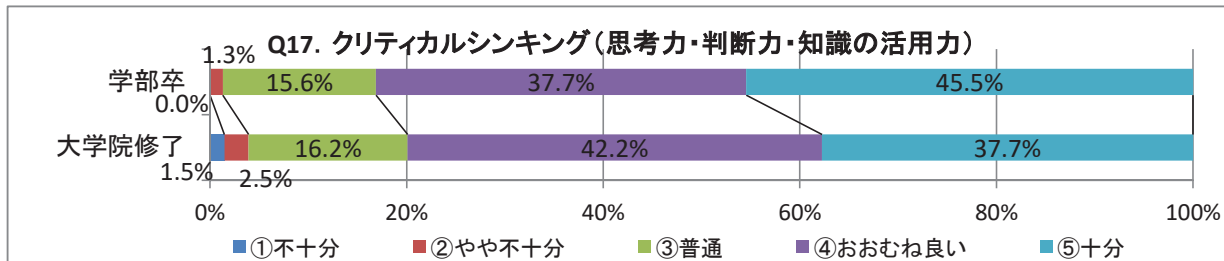
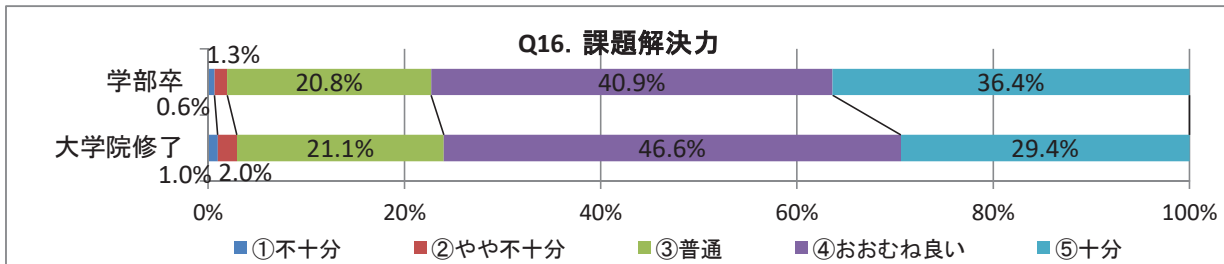
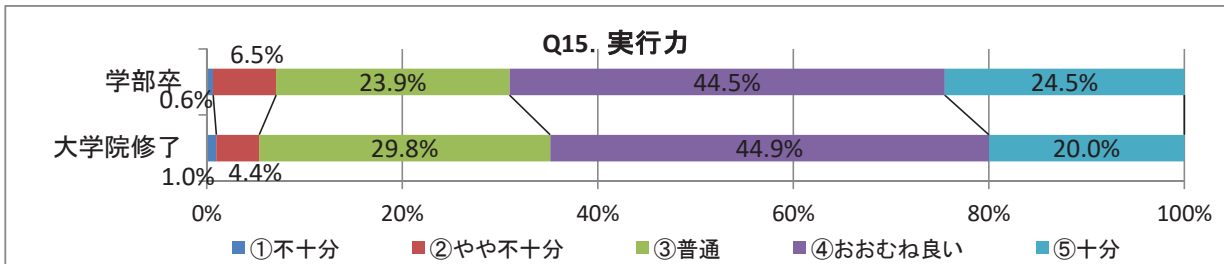
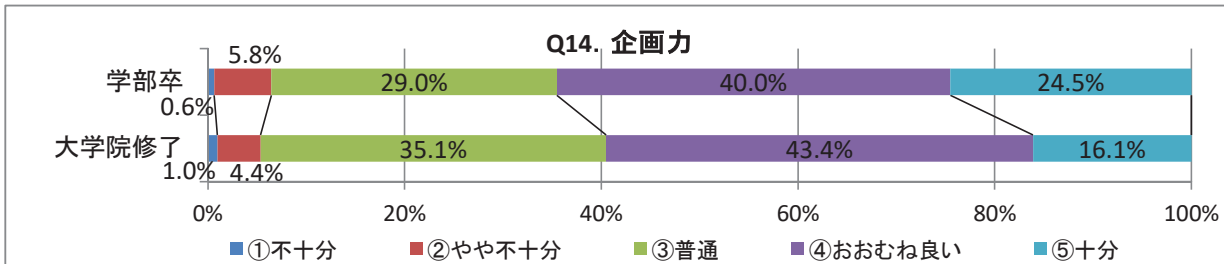
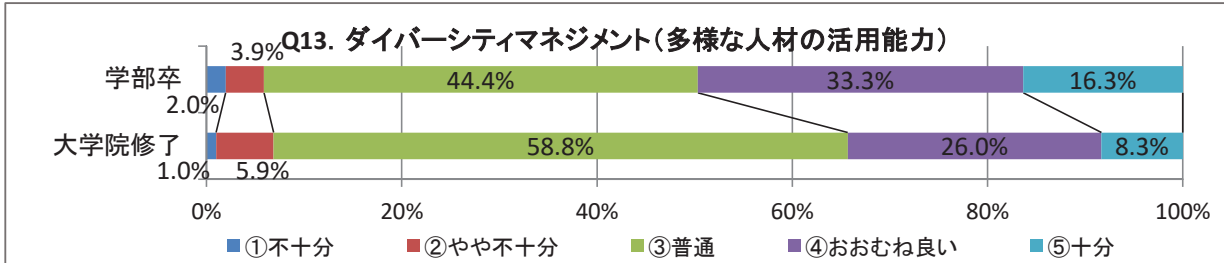
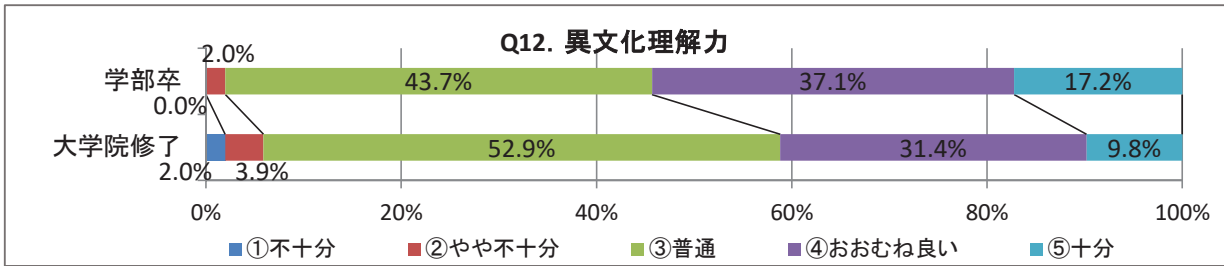


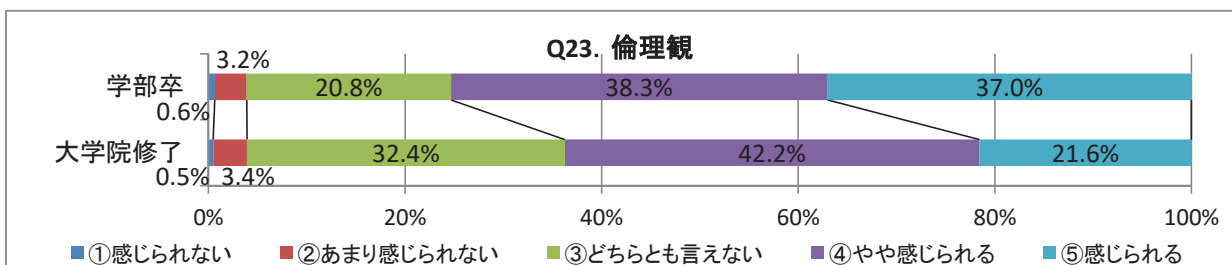
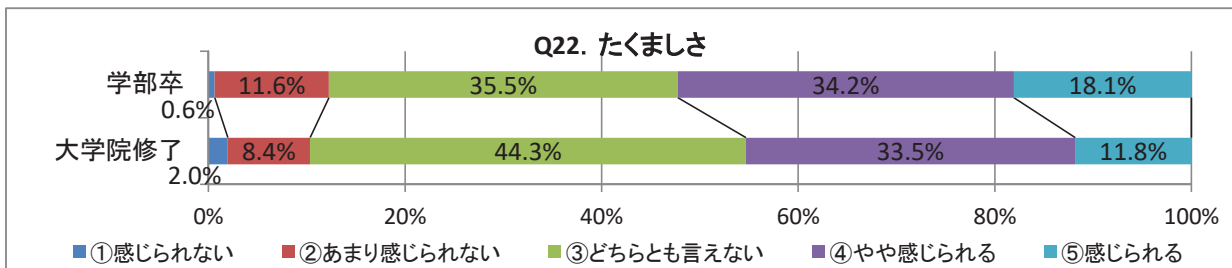
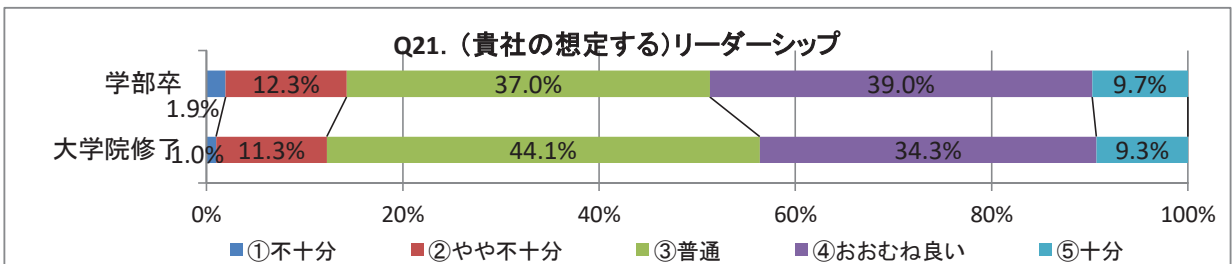
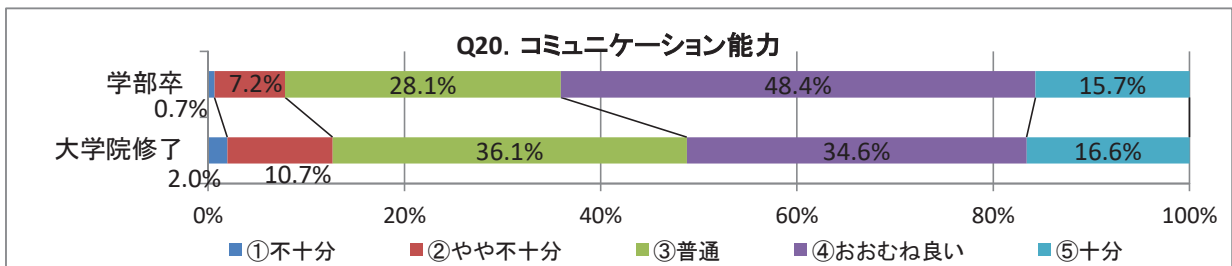
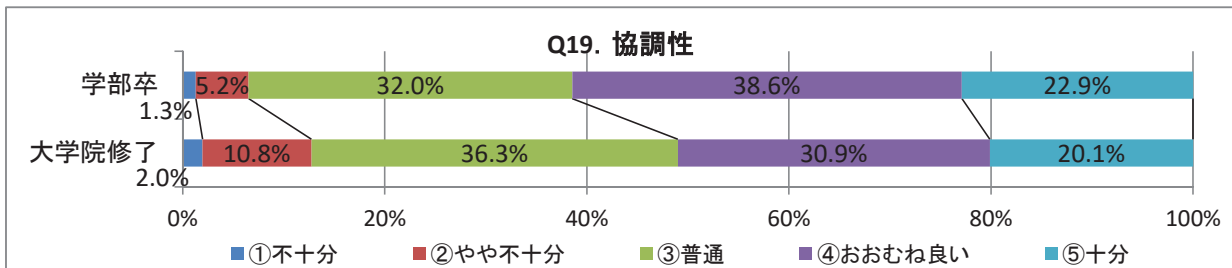
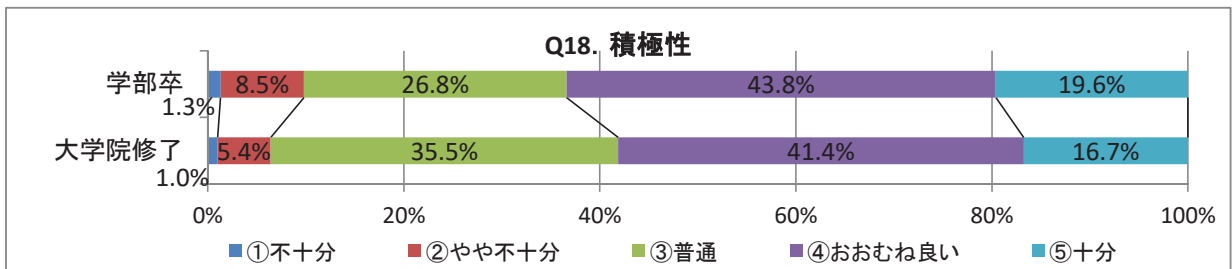
② 学部卒業／大学院修了

【区分方法】Q5.(学部卒と大学院修了のどちらが多く在職しているか)において選択された課程に着目して、「学部卒」と回答した企業(156件)、「大学院修了」と回答した企業(208件)に区分し、それぞれにおいて集計した。なお、前後者同数の場合、及びQ5.が空欄の場合は、本結果に含めていない(計83件)。

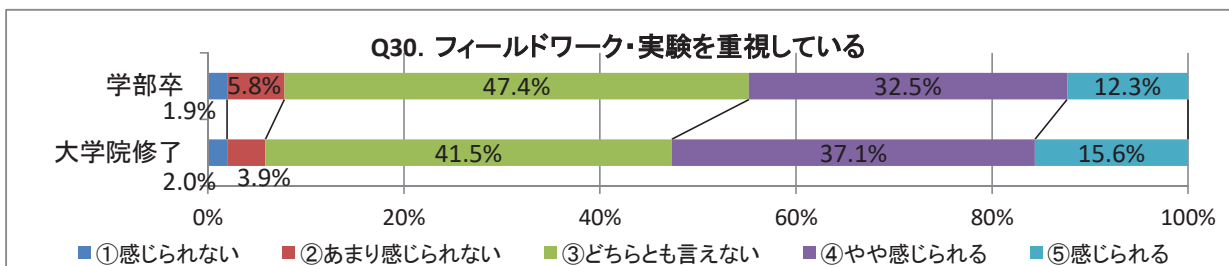
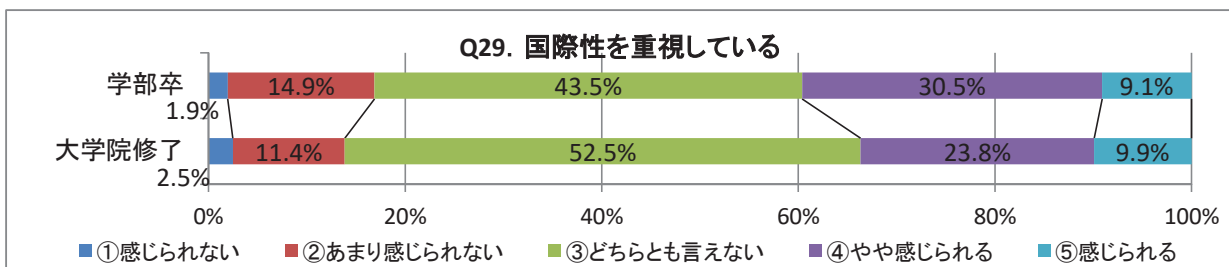
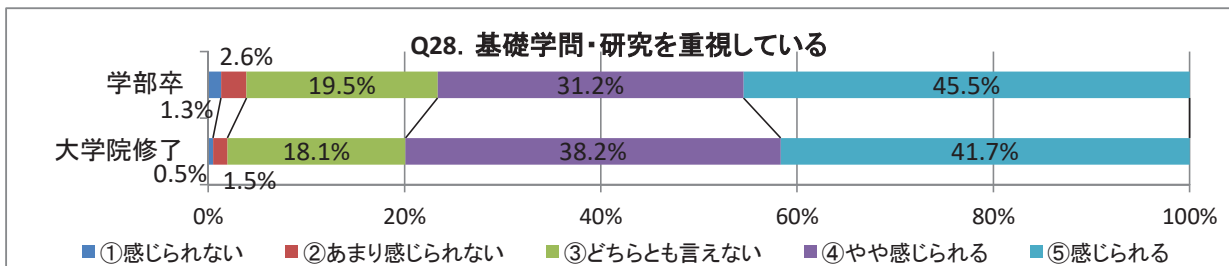
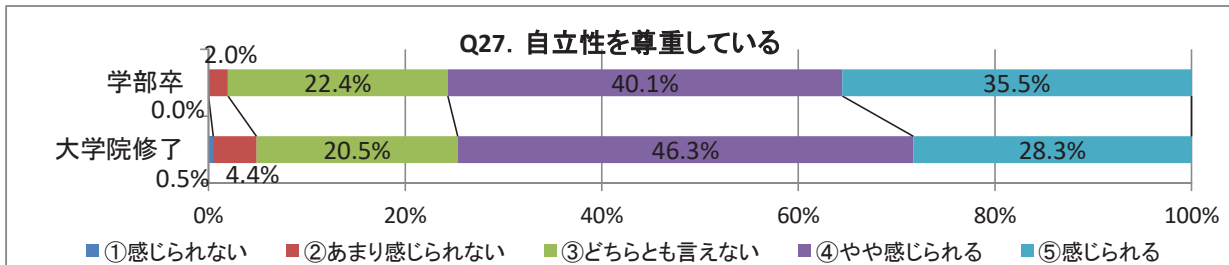
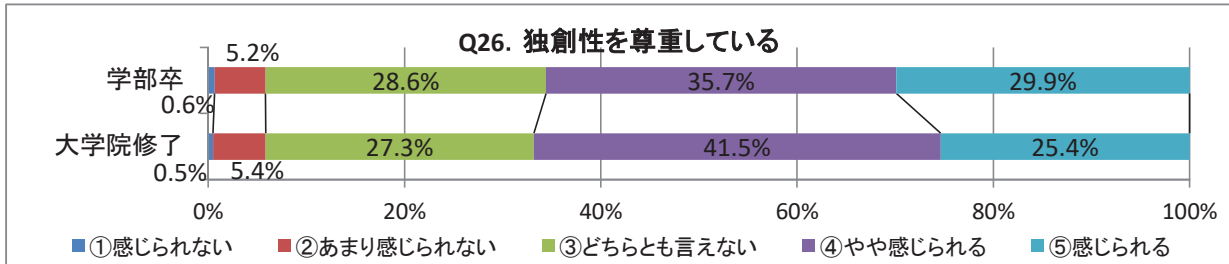
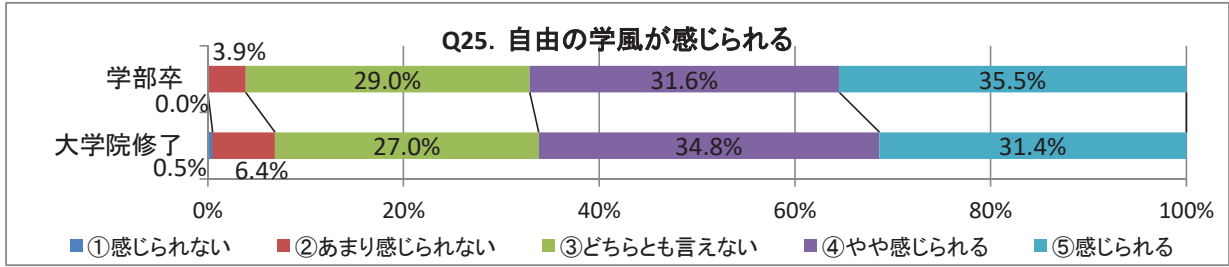
(a) Q6～Q23: 他大学卒業生と比較した京都大学卒業生の印象



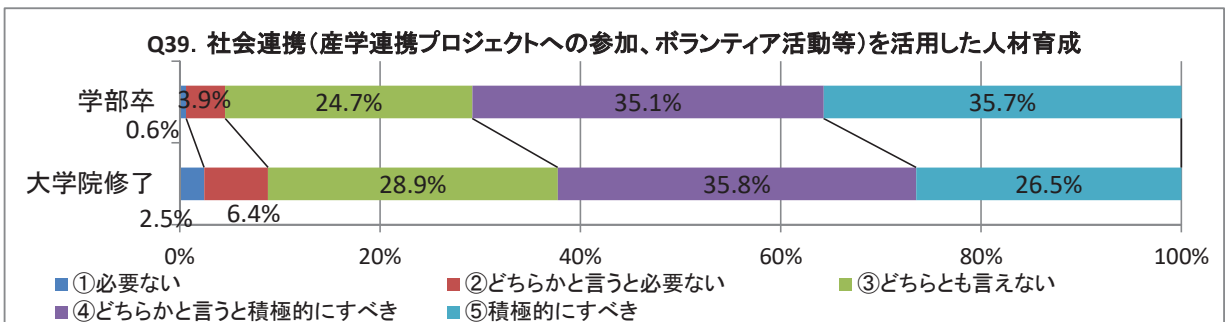
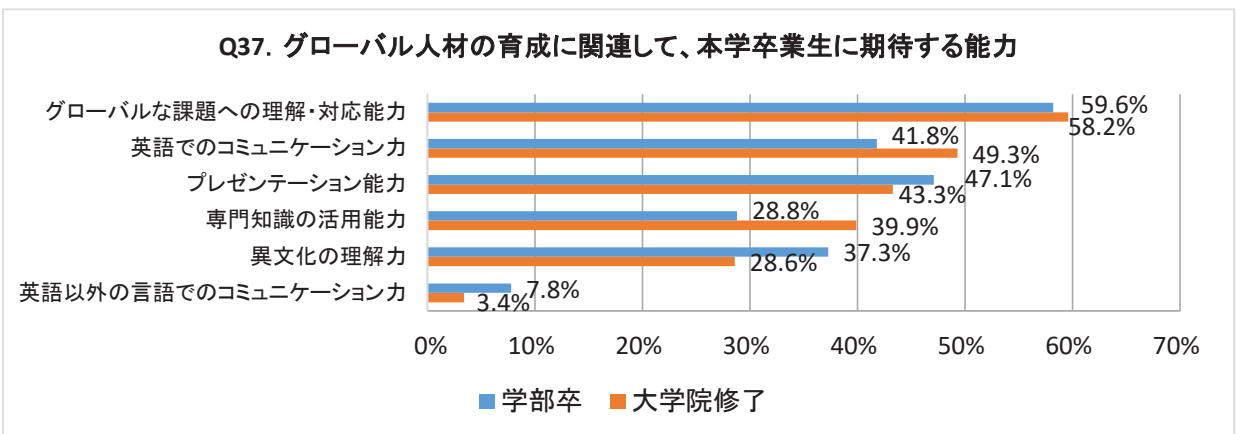
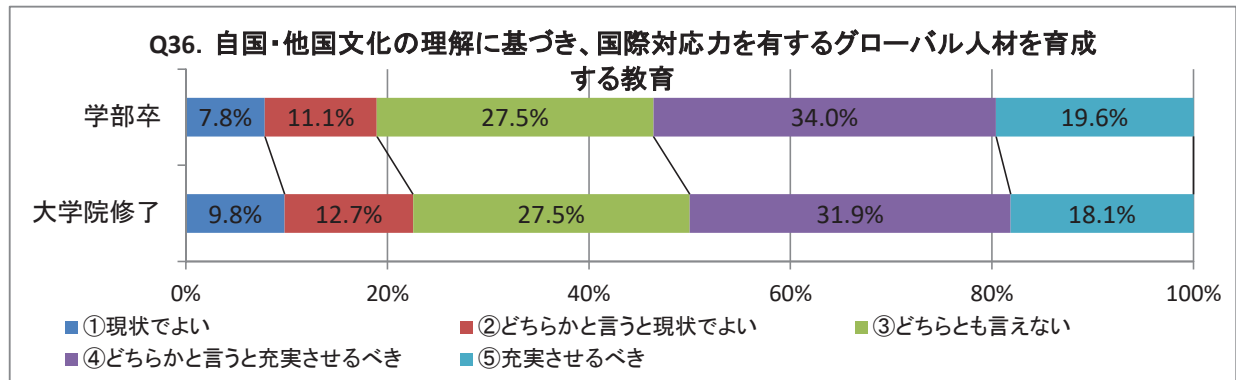
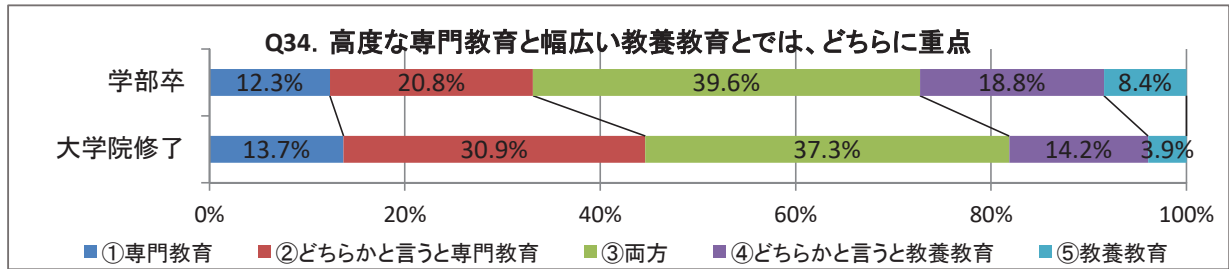
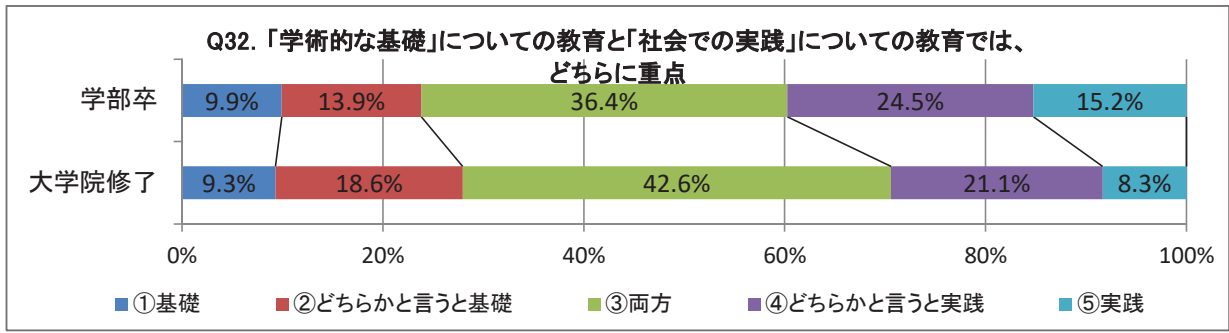


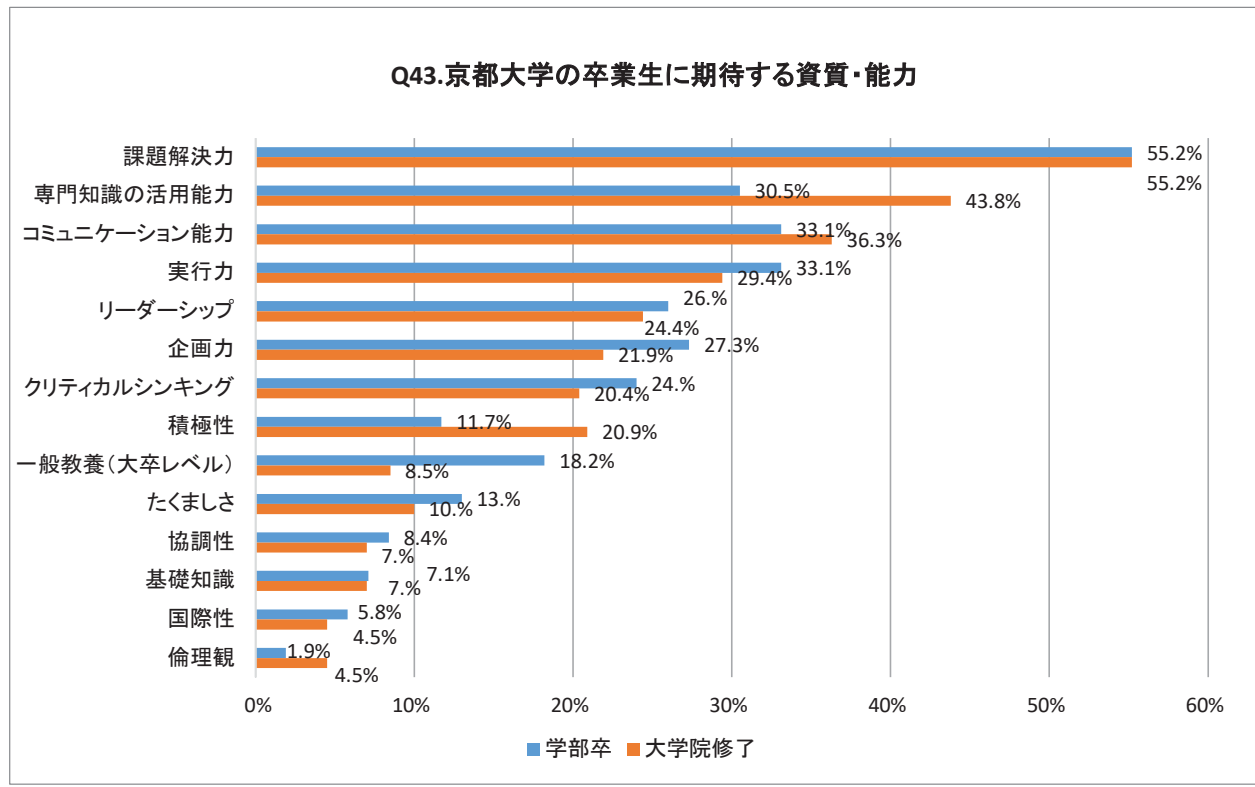
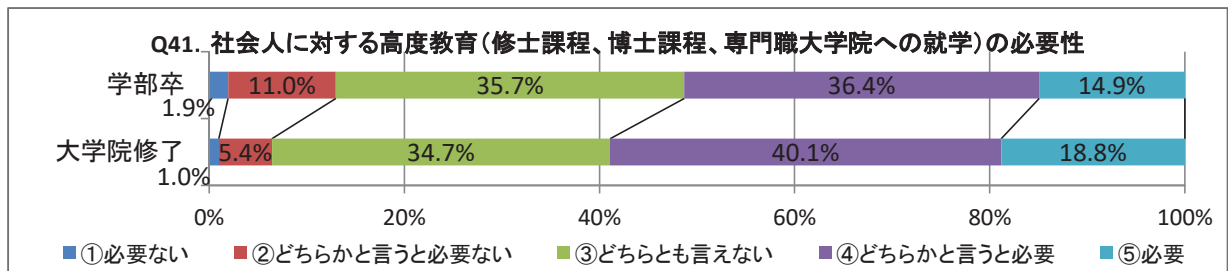


(b) Q25～Q30: 京都大学の卒業生を通じて感じられる京都大学の教育の印象



(c) Q32～Q43: 京都大学の卒業生の印象を踏まえた京都大学の教育のあるべき姿への意見
(Q33,Q35,Q38,Q40,Q42は自由記述のため含めていない。)

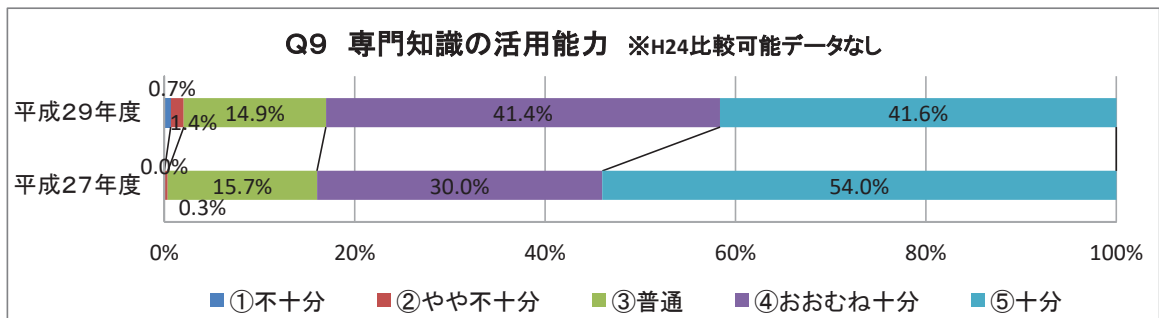
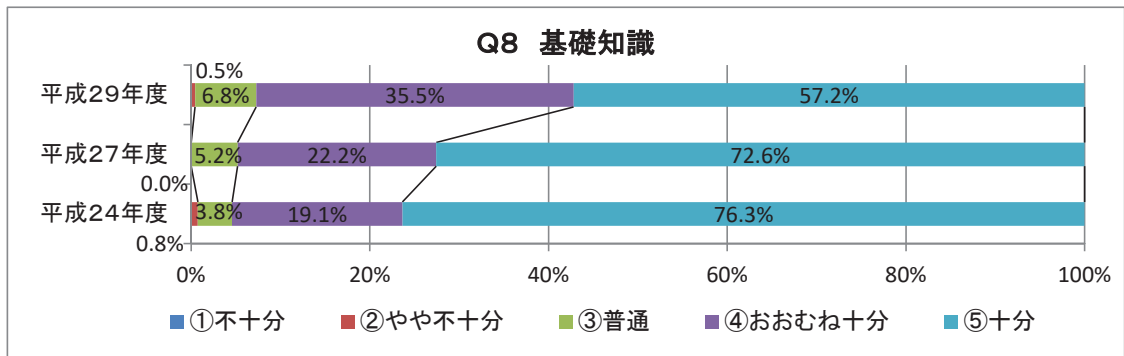
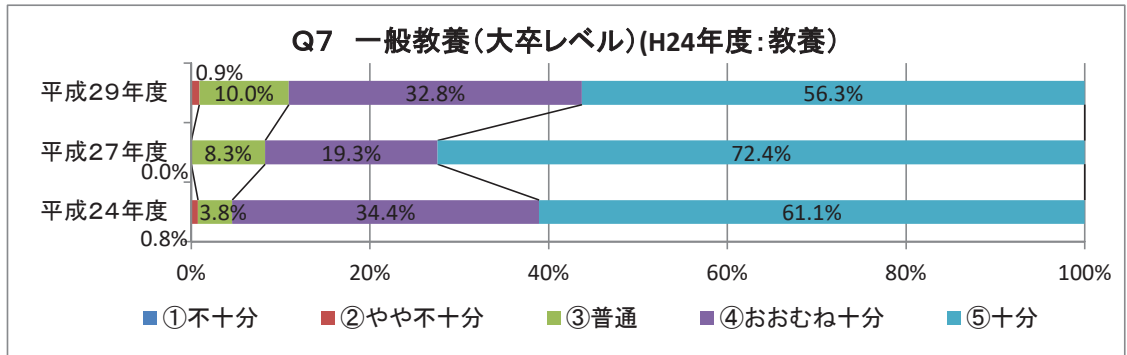
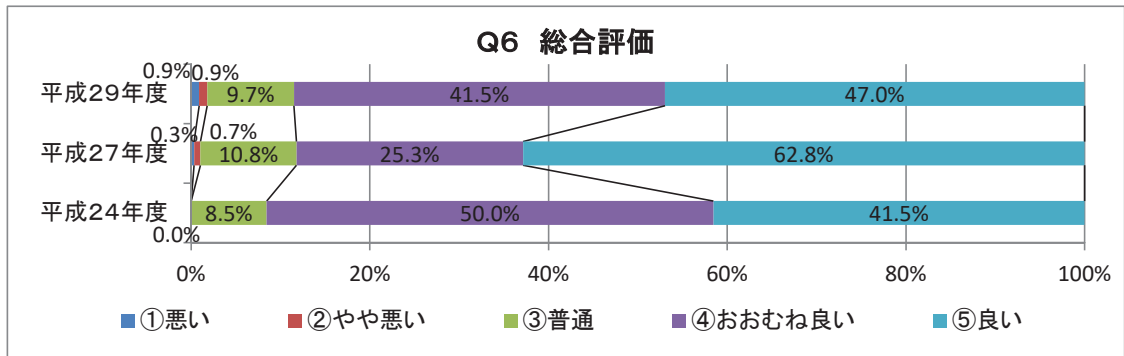


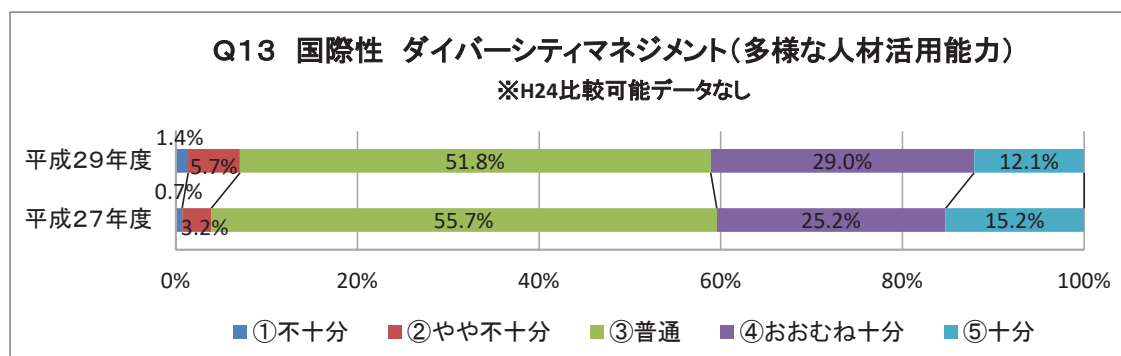
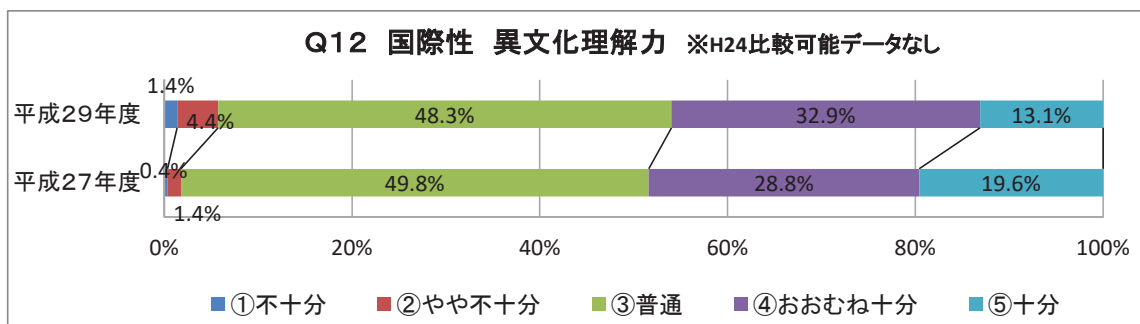
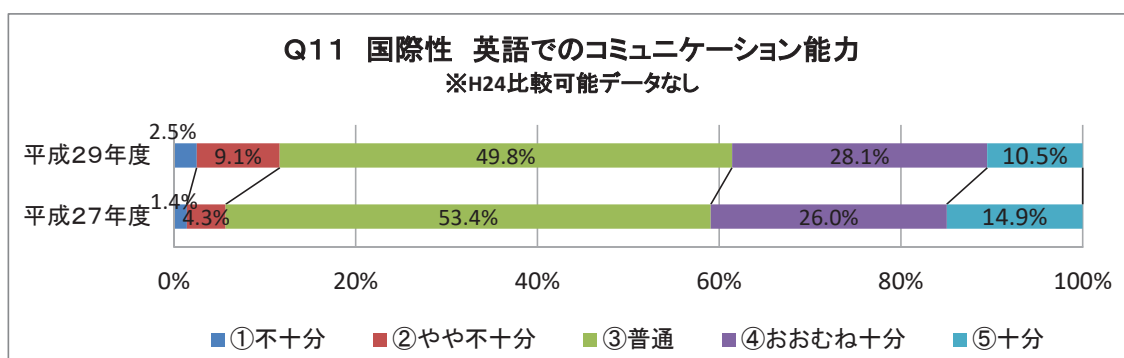
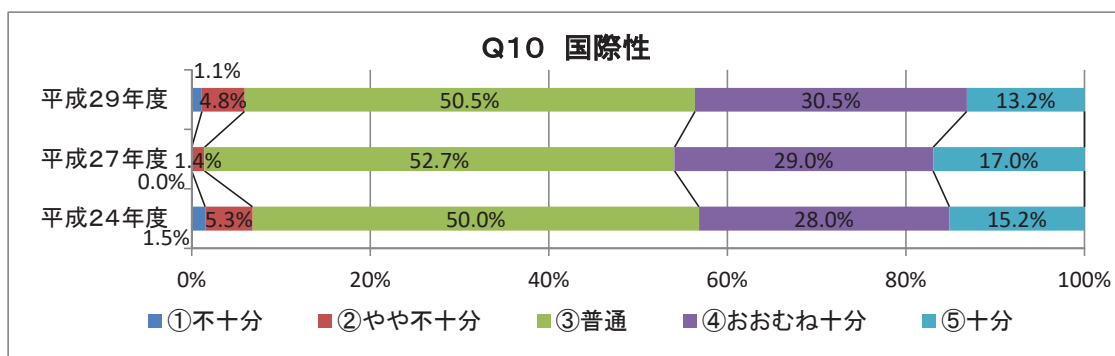


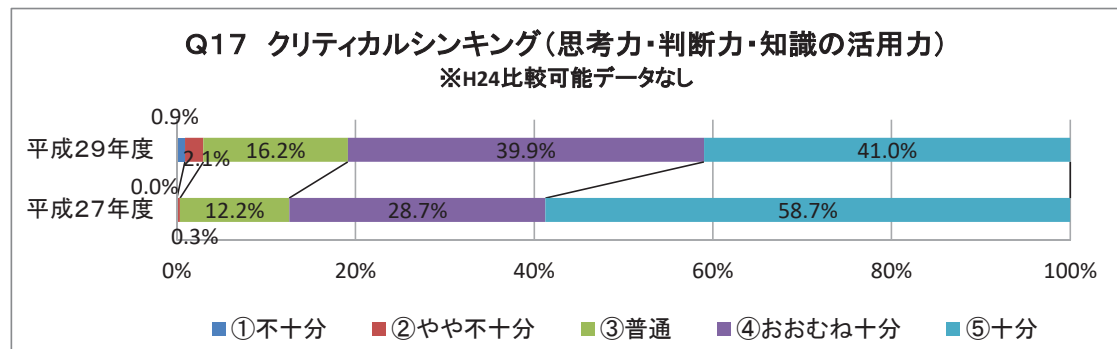
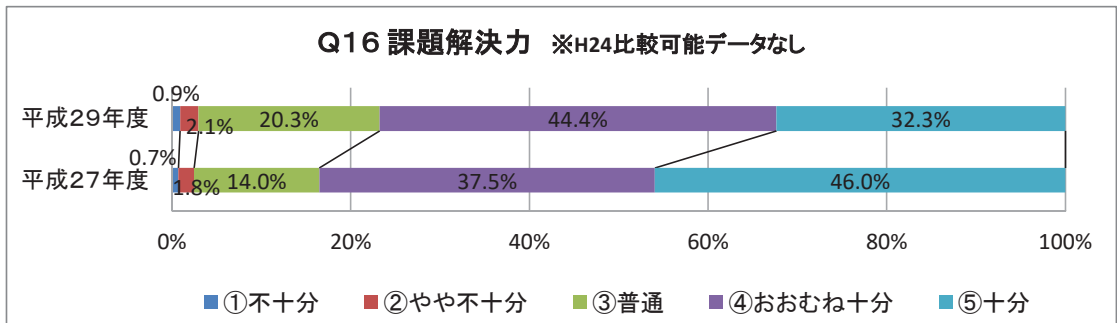
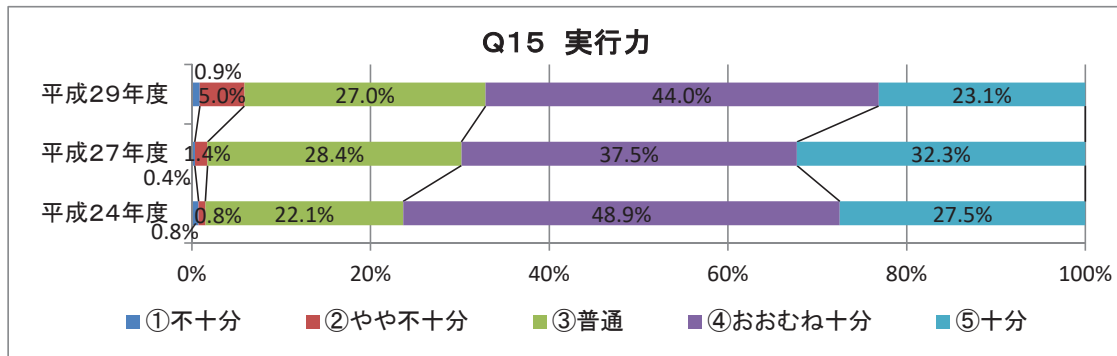
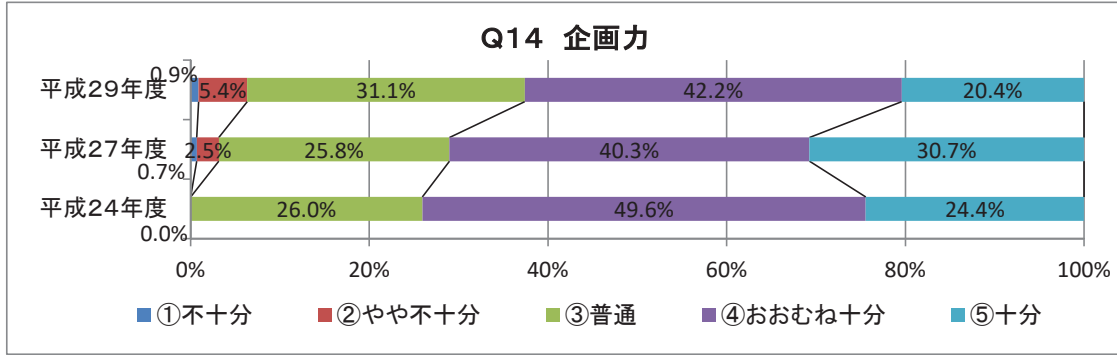
4) 過去のアンケート結果との比較

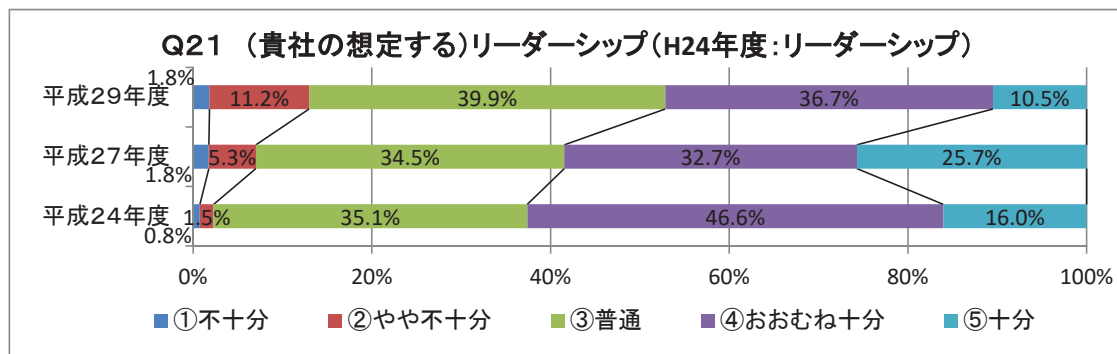
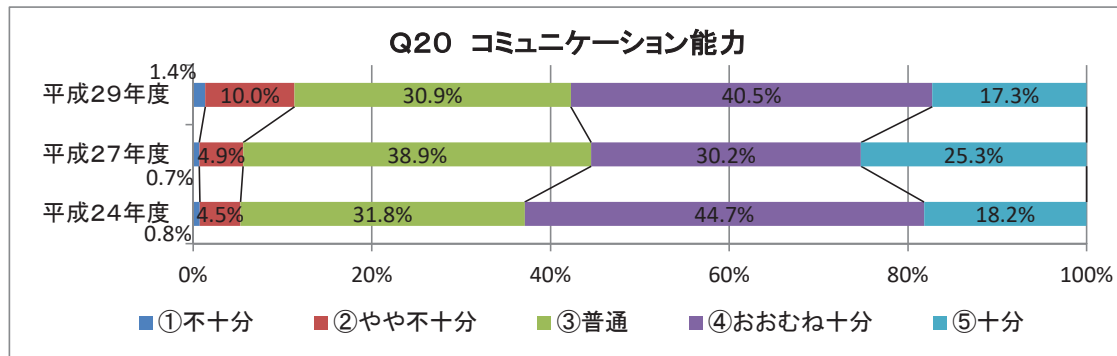
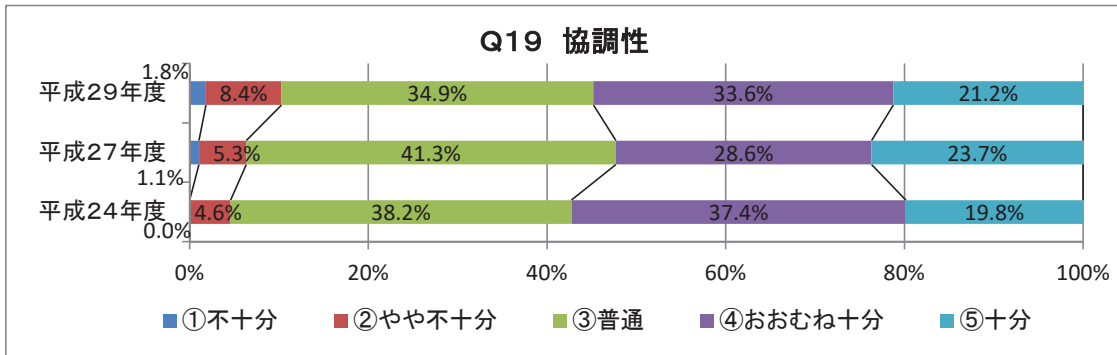
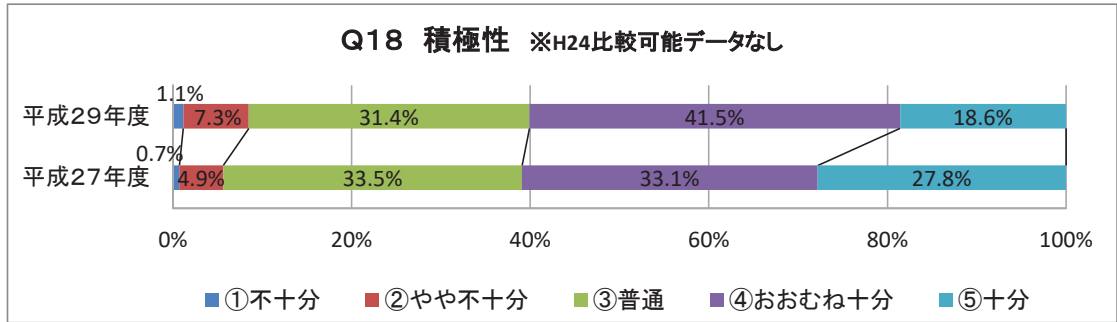
【前回及び前々回の調査と比較できるものについて掲載】

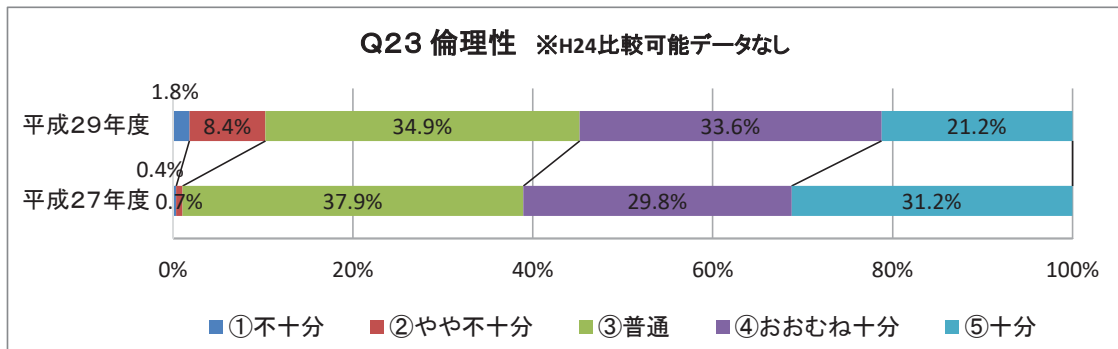
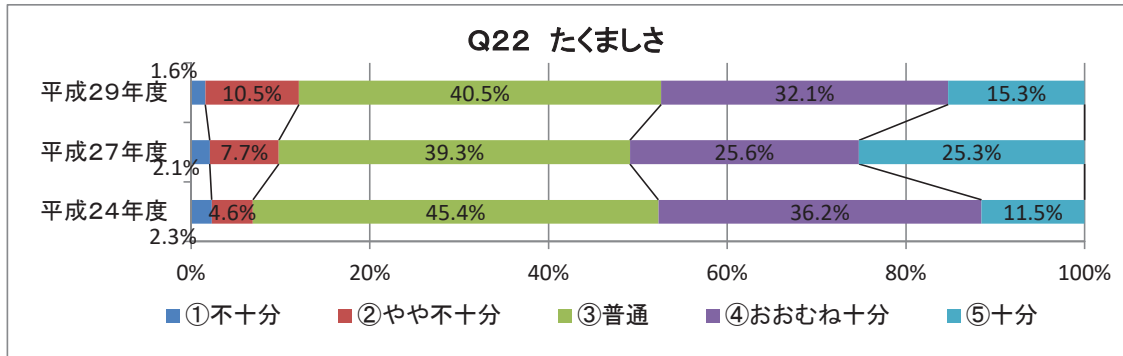
(a) Q6～Q23: 他大学卒業生と比較した京都大学卒業生の印象



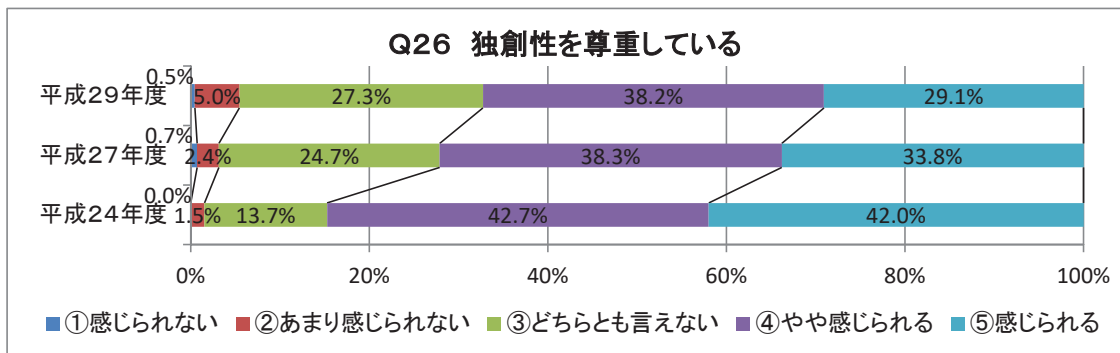
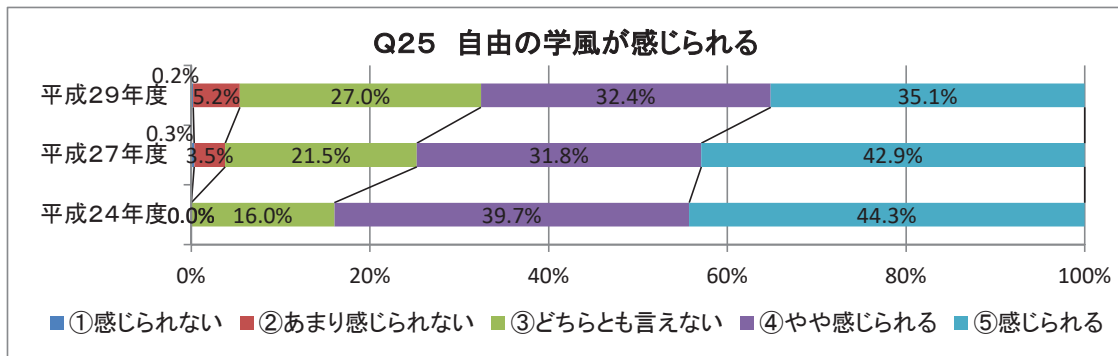


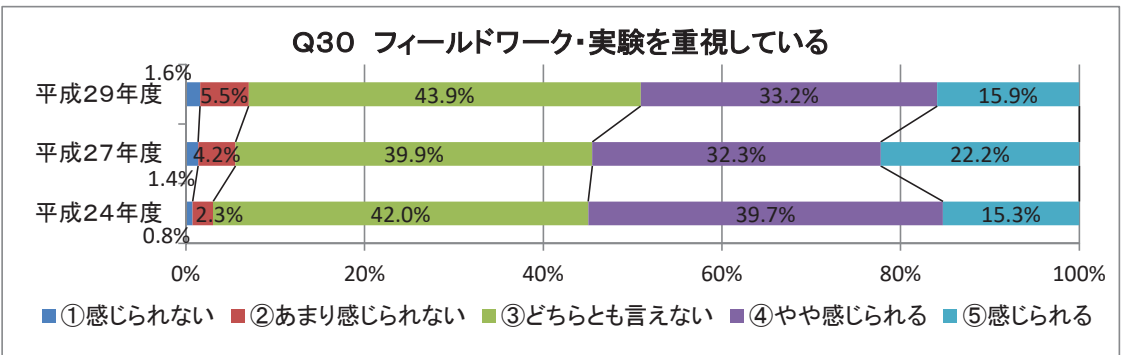
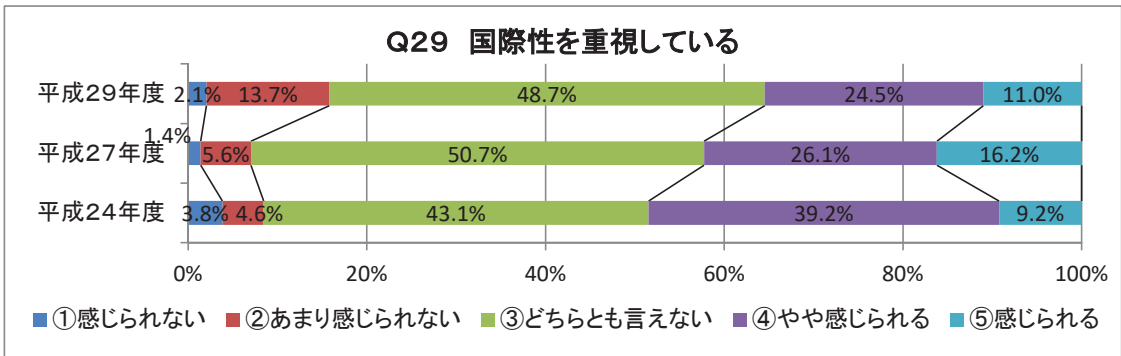
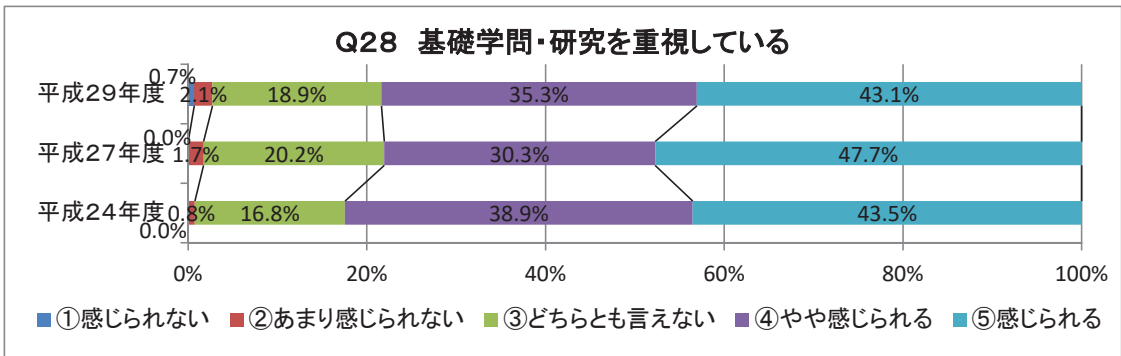
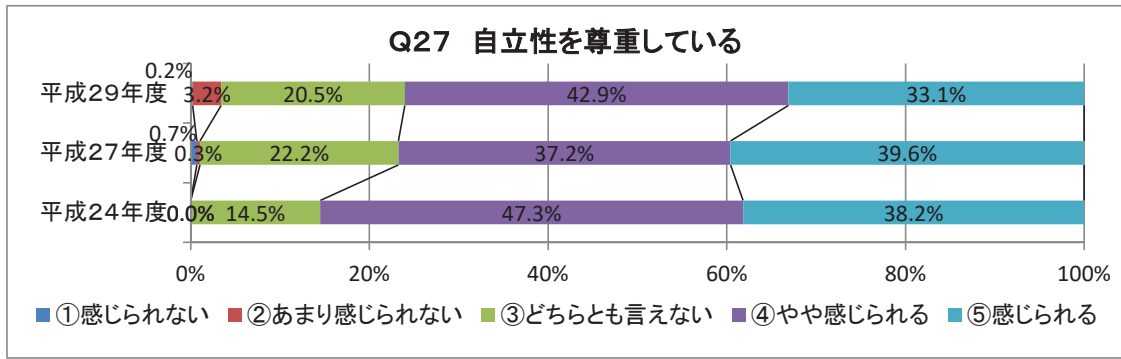




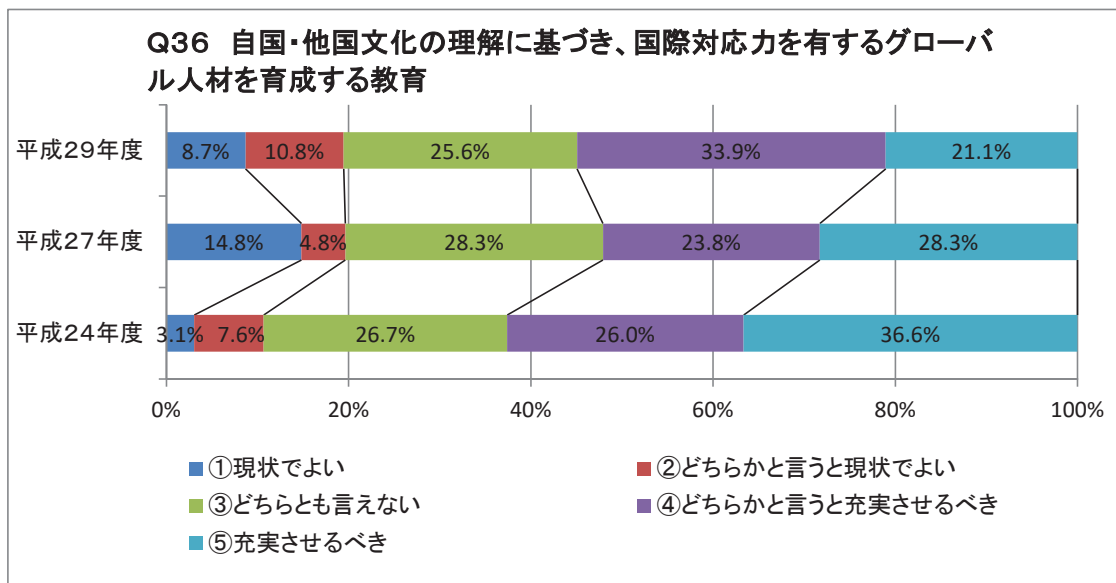
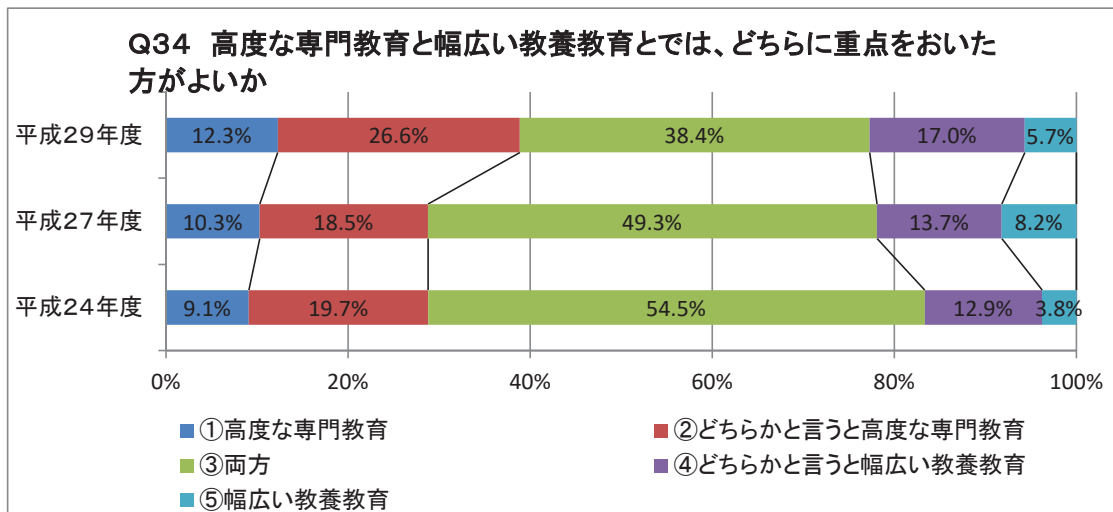
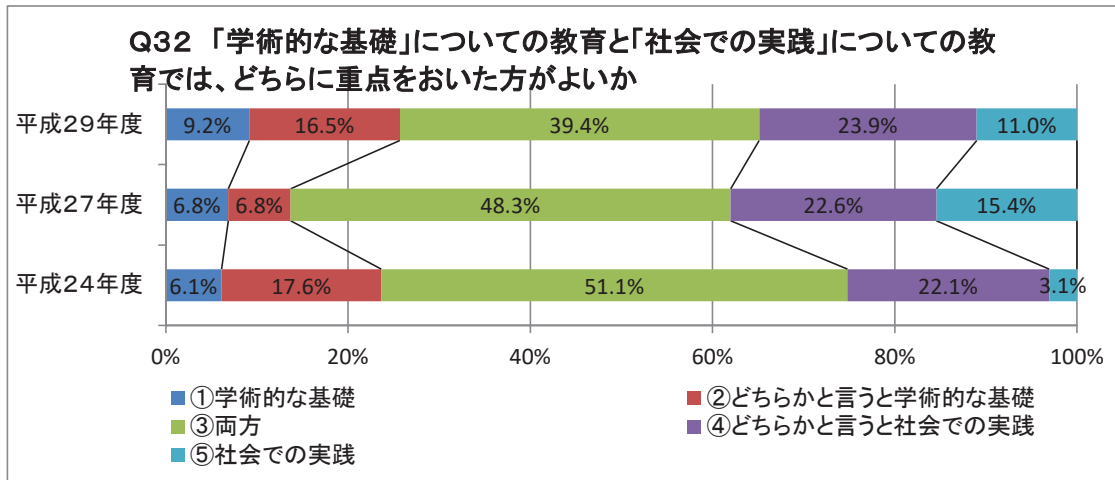


(b) Q25～Q30: 京都大学の卒業生を通じて感じられる京都大学の教育の印象

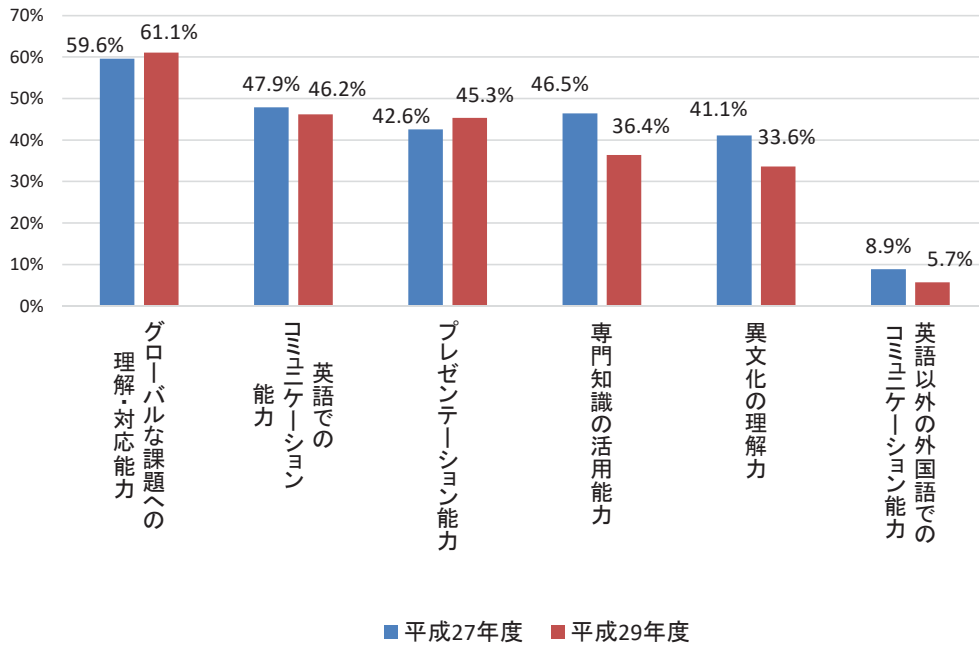




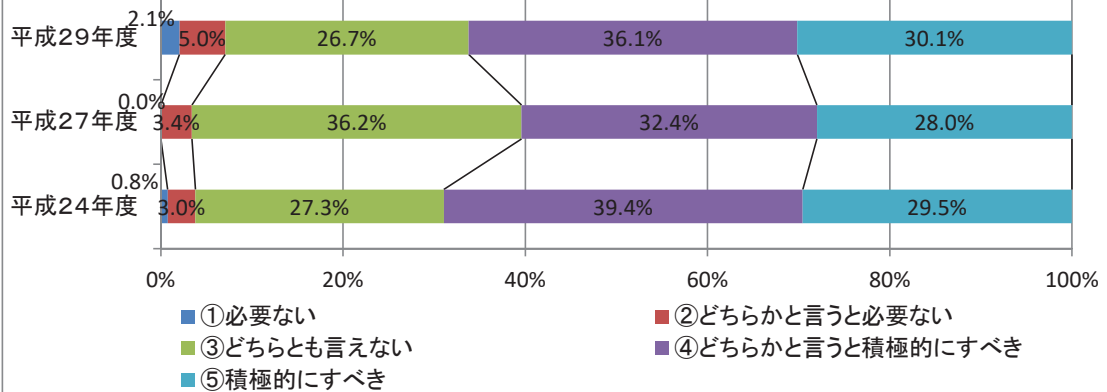
(c) Q32～Q43: 京都大学の卒業生の印象を踏まえた京都大学の教育のあるべき姿への意見
(Q33,Q35,Q38,Q40,Q42は自由記述のため含めていない。)

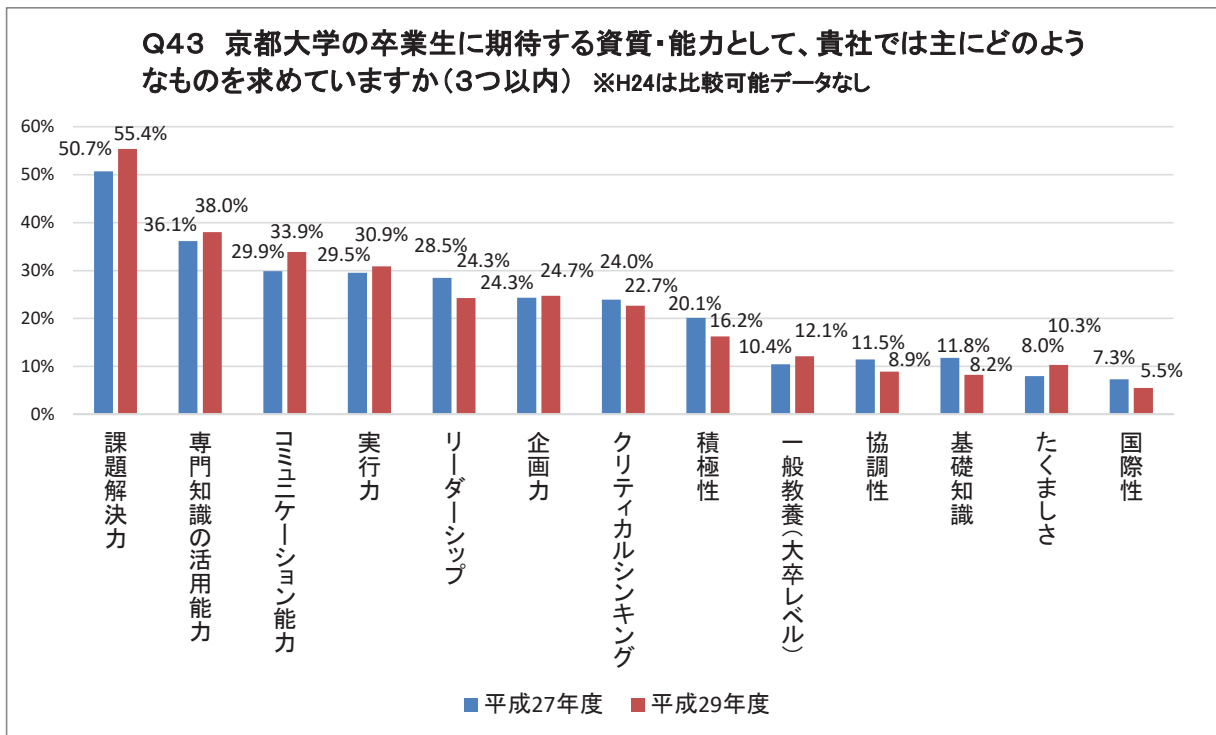
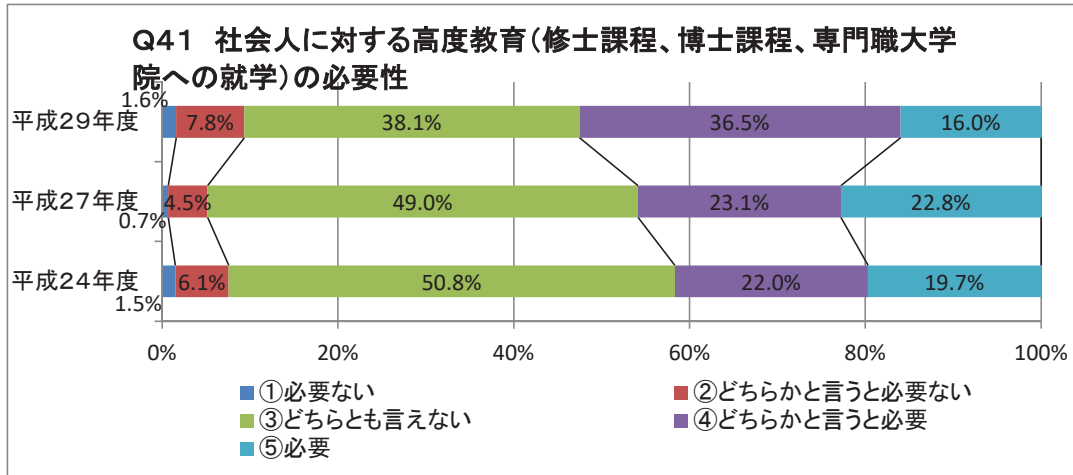


Q37 グローバル人材育成に関して、京都大学の卒業生に期待する能力として主に求めるもの(複数回答) ※H24は比較可能データなし



Q39 社会連携(産学連携プロジェクトへの参加、ボランティア活動等)を活用した人材育成について





参考 アンケート内容

ご担当者様

「京都大学の卒業生と教育に係るアンケート」の実施について

標記アンケートについて、下記のとおり実施いたしたく、お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

○ ご回答いただく方（部門）：

ご回答は、人事担当部門の方にお願いいたします。人事担当部門からみた京都大学の卒業生と教育について、差し支えのない範囲でお答えください。人事担当部門の方のみではご回答し難い内容が含まれている場合は、当該卒業生の上司や管理職の方からお声をお寄せいただくなどのご協力をいただければ幸いです。

○ 対象とする卒業生：

本アンケートは、「卒業後概ね5年以内」の卒業生を対象としてご回答願います。なお、転出などにより、現時点で貴社に本学の卒業生が在籍していない場合は、在籍当時の状況について可能な限りご協力をお願いいたします。

○ ご回答方法：

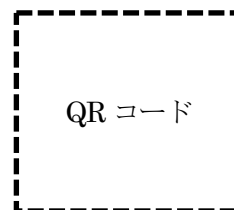
・ご回答は、下記「アンケート調査URL」（京都大学アンケートシステム）にアクセスいただき、下記「ログイン用『企業等ID』」によりログインのうえ、Web上で入力願います。

● アンケート調査 URL：

※QRコードからもアクセスできます。

● ログイン用「企業等ID」：【】（9桁の半角数字）

※ログイン後、左上に貴社名が表示されますので、アンケートにお進みください。



・本アンケートの設問は、選択式・記述式を併せて計44問あります（別添）。画面上複数ページに渡っており、画面下方の「次へ」ボタンで次ページに進み、「前へ」ボタンで前ページに戻ることができます。作業を一時中断したい場合は、「一時保存」ボタンをクリックすることにより、これまでの入力内容が保存され、次回ログイン時に再開可能となります。

・最後のQ44までご回答いただきましたら、「入力内容を確認する」ボタンをクリックしてください。確認画面に進みますので、回答いただいた内容をご確認のうえ、問題がなければ「アンケートの回答を完了する」ボタンをクリックしてください。これによりアンケートは終了となります。

○ その他、ご留意いただきたい事項：

アンケート中「卒業生の印象」を問う設問がありますが、他大学の卒業生と比較した、本学の卒業生全般に対する印象としてご回答いただければ幸いです。

○ 集計結果の公表：

本アンケートの結果は統計処理のうえ、本学の自己点検・評価に係る参考資料として公表いたしますが、公表に当たって、個人及び企業を特定するようなことは一切ございません。

なお、ご回答いただいた企業には、集計結果を別途ご報告させていただく予定です。

（以上）

「京都大学の卒業生と教育に係るアンケート」回答票

質問事項		選択肢	回答欄
Q 1.	本アンケート調査にお答えくださる担当 様が所属する「部署名」をお聞かせ記 載ください。	(記述式)	
Q 2.	貴社の「従業員規模」をお聞かせくだ さい。	①～299人 ②300～999人 ③1,000人～4,999人 ④5,000人～	
Q 3.	京都大学の卒業生の「在職人数」につ いて、概数をお聞かせください。	①0人(以前在職していた) ②1～5人程度 ③6～10人程度 ④11～20人程度 ⑤21～50人程度 ⑥51～100人程度 ⑦101人 以上	
Q 4.	京都大学の卒業生について、特に多い出 身学部・研究科がありましたら、下記に 5つ以内で選択してください。不明な場 合は、空欄で差し支えございません。	①総合人間学部・人間・環境学研究科 ②文学部・文学研究科 ③教育学部・教育学研究科 ④法学部・法学研究科 ⑤経済学 部・経済学研究科 ⑥理学部・理学研究科 ⑦医学部・医学研 究科 ⑧薬学部・薬学研究科 ⑨工学部・工学研究科 ⑩農学 部・農学研究科 ⑪エネルギー科学研究科 ⑫アジア・アフリ カ地域研究研究科 ⑬情報学研究科 ⑭生命科学研究科 ⑮地 球環境学舎 ⑯公共政策大学院 ⑰経営管理大学院 ⑱法科大 学院 ⑲医学研究科社会健康医学系専攻(専門職大学院)	
Q 5.	京都大学の卒業生は、学部卒と大学院 (修士・博士)修了のどちらが多く在職 していますか。分かる範囲でお答えくだ さい。	①学部卒 ②大学院(修士・博士)修了 ③ほぼ同数	
I. 他大学の卒業生と比較した、京都大学の卒業生の印象について、5段階でお答えください。 (以下、Q. 23のI-(15)まで。Q. 24のI-(16)は自由記述)			
Q 6.	I-(1) 総合評価	①悪い ②やや悪い ③普通 ④おおむね良い ⑤良い	
Q 7.	(以下は、個別の観点からお答えくだ さい。) I-(2) 一般教養(大卒レベル)	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 8.	I-(3) 基礎知識	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 9.	I-(4) 専門知識の活用能力	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 10.	I-(5) 国際性	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 11.	また、この「国際性」に関して、特に次 の印象(a)～(c)については如何で しょうか。 I-(5)-(a) 英語でのコミュニケーション 能力	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 12.	I-(5)-(b) 異文化理解力	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 13.	I-(5)-(c) ダイバーシティマネジメ ント(多様な人材の活用能力)	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 14.	I-(6) 企画力	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 15.	I-(7) 実行力	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 16.	I-(8) 課題解決力	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 17.	I-(9) クリティカルシンキング(思考 力・判断力・知識の活用力)	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 18.	I-(10) 積極性	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 19.	I-(11) 協調性	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 20.	I-(12) コミュニケーション能力	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 21.	I-(13) (貴社の想定する) リーダー シップ	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 22.	I-(14) たくましさ	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 23.	I-(15) 倫理観	①不十分 ②やや不十分 ③普通 ④おおむね十分 ⑤良い	
Q 24.	I-(16) 京都大学の卒業生の印象につ いて、普段感じておられることを自由にお 書きください。(200字以内)	(自由記述式)	
II. 京都大学の卒業生を通して感じられる、京都大学の教育の印象について、5段階でお答えください。 (以下、Q. 30のII-(6)まで。Q. 31のII-(7)は自由記述)			
Q 25.	II-(1) 京都大学の学風である「自由の 学風」が感じられる	①感じられない ②あまり感じられない ③どちらとも言え ない ④やや感じられる ⑤感じられる	
Q 26.	II-(2) 独創性を尊重している	①感じられない ②あまり感じられない ③どちらとも言え ない ④やや感じられる ⑤感じられる	
Q 27.	II-(3) 自立性を尊重している	①感じられない ②あまり感じられない ③どちらとも言え ない ④やや感じられる ⑤感じられる	
Q 28.	II-(4) 基礎学問・研究を重視している	①感じられない ②あまり感じられない ③どちらとも言え ない ④やや感じられる ⑤感じられる	
Q 29.	II-(5) 国際性を重視している	①感じられない ②あまり感じられない ③どちらとも言え ない ④やや感じられる ⑤感じられる	
Q 30.	II-(6) フィールドワーク・実験を重視 している	①感じられない ②あまり感じられない ③どちらとも言え ない ④やや感じられる ⑤感じられる	
Q 31.	II-(7) 京都大学の教育の印象につ いて、自由にお書きください。(200字以 内)	(自由記述式)	

質問事項	選択肢	回答欄
III. 京都大学の卒業生の印象を踏まえて、京都大学での教育のあるべき姿（今後の方向性）についてご意見をお聞かせください。 （以下、Q. 43のⅢ-（6）まで）		
Q 32.	Ⅲ-（1）「学術的な基礎」についての教育と「社会での実践」についての教育では、どちらに重点をおいた方がよいと思われるですか。	①学術的な基礎 ②どちらかと言うと学術的な基礎 ③両方 ④どちらかと言うと社会での実践 ⑤社会での実践
Q 33.	上記Ⅲ-（1）について、ご意見がある方は自由にお書きください。（200字以内）	（自由記述式）
Q 34.	Ⅲ-（2）高度な専門教育と幅広い教養教育とでは、どちらに重点をおいた方がよいと思われるですか。	①高度な専門教育 ②どちらかと言うと高度な専門教育 ③両方 ④どちらかと言うと幅広い教養教育 ⑤幅広い教養教育
Q 35.	上記Ⅲ-（2）について、ご意見がある方は自由にお書きください。（200字以内）	（自由記述式）
Q 36.	Ⅲ-（3）-（a） 自国・他国文化の理解に基づき、国際対応力を有するグローバル人材を育成する教育についてお聞かせください。	①現状でよい ②どちらかと言うと現状でよい ③どちらとも言えない ④どちらかと言うと充実させるべき ⑤充実させるべき
Q 37.	Ⅲ-（3）-（b） また、グローバル人材の育成に関連して、京都大学の卒業生に期待する能力として、貴社では主にどのようなものを求めていますか。（複数回答可）	①英語でのコミュニケーション力 ②英語以外の外国語でのコミュニケーション力 ③プレゼンテーション能力 ④異文化の理解力 ⑤グローバルな課題への理解・対応能力 ⑥専門知識の活用能力
Q 38.	上記Ⅲ-（3）-（a）及び（b）について、ご意見がある方は自由にお書きください。（200字以内）	（自由記述式）
Q 39.	Ⅲ-（4） 社会連携（産学連携プロジェクトへの参加、ボランティア活動等）を活用した人材育成について	①必要ない ②どちらかと言うと必要ない ③どちらとも言えない ④どちらかと言うとすべき ⑤積極的にすべき
Q 40.	上記Ⅲ-（4）について、ご意見がある方は自由にお書きください。（200字以内）	（自由記述式）
Q 41.	Ⅲ-（5） 社会人に対する高度教育（修士課程、博士課程、専門職大学院への就学）の必要性	①必要ない ②どちらかと言うと必要ない ③どちらとも言えない ④どちらかと言うと必要 ⑤必要
Q 42.	上記Ⅲ-（5）について、ご意見がある方は自由にお書きください。（200字以内）	（自由記述式）
Q 43.	Ⅲ-（6） 京都大学の卒業生に期待する資質・能力として、貴社では主にどのようなものを求めていますか。特に期待するものを3つ以内でお選びください。	①一般教養（大卒レベル） ②基礎知識 ③専門知識の活用能力 ④国際性 ⑤企画力 ⑥実行力 ⑦課題解決力 ⑧クリティカルシンキング ⑨積極性 ⑩協調性 ⑪コミュニケーション能力 ⑫リーダーシップ ⑬たくましさ ⑭倫理観
Q 44.	IV. 京都大学における教育・研究のあるべき姿、今後の方向性など、本学への要望をお聞かせください。（200字以内）	（自由記述式）

* 設問は以上です。ご協力ありがとうございました。